水道工事標準積算基準書

令和 8 年 10月

広 島 市 水 道 局

目　次

第１章　土工

１　土量変化率等

(1) 土量の変化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1-1

(2) 土量変化率 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1-1

(3) 積算対象土量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1-2

２　人力土工

(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1-2

(2) 作業内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1-2

(3) 施工歩掛 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1-3

３　人力運搬工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1-3

４　機械掘削工（配管工事用）

(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1-3

(2) 施工歩掛 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1-3

５　機械埋戻し（配管工事用）

(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1-6

(2) 施工歩掛 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1-6

第２章　舗装版破砕工

１　舗装版の直接掘削・積込施工歩掛

(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2-1

(2) 施工歩掛 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2-1

２　舗装版切断工（施工パッケージ） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2-4

第３章　舗装工

１　路盤工

(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3-1

(2) 一層当りの最大仕上げ厚さ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3-1

(3) 路盤材の使用数量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3-1

(4) 施工歩掛 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3-1

２　アスファルト舗装工（施工パッケージ） ・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3-3

第４章　コンクリートエ

１　コンクリートエ（施工パッケージ） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4-1

２　モルタル練工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4-1

３　型枠工（施工パッケージ） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4-1

４　基礎砕石工（施工パッケージ） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4-1

第５章　仮設工
１　土留
(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-1
(2) 施工歩掛 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-1
２　アルミ矢板基本料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-4
３　軽量金属支保工
(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-5
(2) 施工歩掛 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-5
４　軽量金属製支保材基本料
(1) 軽量金属製支保材賃料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-6
(2) 切梁・腹起し材賃料・基本料単価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-6
(3) 切梁・腹起し材使用本数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-7
５　新旧管仮片送工
(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-8
(2) 施工歩掛 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-8
６　路面覆工
(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-9
(2) 覆工板・覆工板受桁設置撤去工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-9
(3) 覆工板開閉工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-9
(4) 路面すりつけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5-9

第６章　配管工事
１　管吊込み据付
(1) 鋳鉄管吊込み据付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-1
(2) 鋼管小口径管据付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-2
(3) 硬質塩化ビニル管据付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-3
(4) ポリエチレン管据付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-3
２　継手工
(1) Ｔ形継手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-4
(2) ＧＸ形継手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-4
(3) ＮＳ形継手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-5
(4) Ｋ形継手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-8
(5) フランジ形継手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-9
(6) 鋼管小口径管継手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-10
(7) 硬質塩化ビニル管継手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-11
(8) ジョイント継手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-11
(9) ポリエチレン管継手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-11

３　管切断工
(1) 鋳鉄管切断 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-13
(2) 鋼管小口径管切断 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-14
(3) 硬質塩化ビニル管切断 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-14
(4) ポリエチレン管切断 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-14
(5) 溝切加工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-15
(6) 挿口リング取付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-17
４　弁類設置
(1) 仕切弁設置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-18
(2) 空気弁設置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-19
(3) 消火栓設置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-20
(4) 伸縮可とう管設置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-21
５　ポリスリーブ被覆工
(1) ポリスリーブ被覆工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-22
６　管明示工
(1) 管明示工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-22
７　水圧テスト工
(1) 水圧テスト工（口径 800mm 以下） ・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-23
(2) 水圧テスト工（口径 900mm 以上） ・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-24
８　給水管工
(1) 止水栓据付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-24
(2) 給水管取付替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-25
(3) 可とう式サドル分水栓取付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-31
(4) サドル分水栓（可とう継手共）取付 ・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-31
(5) コア取付工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-32
(6) 分水栓取付穿孔 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-32
９　弁室等の築造
(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-33
(2) 据付作業歩掛の適用区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-33
(3) 機種選定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-33
(4) 鉄蓋設置工（人力） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-33
(5) 土留側設置工（人力） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-34
(6) 土留側設置工（機械） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-34
(7) ソフトシール仕切弁室築造工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-35
(8) 消火栓室築造工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-36
(9) 弁室築造工（補修弁付） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-36
(10) 空気弁付消火栓室築造工（75mm） ・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-38
(11) 急速空気弁室築造工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-38

(12) ゴムシート形バタフライ弁室築造工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-39
１０ 連絡工
(1) 連絡工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-39
１１ 給水管布設用管据付
(1) 布設工用ビニル管据付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-40
(2) 布設工用ポリエチレン管据付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-40
１２ 水替工
(1) 水替工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-40
１３ 既設管撤去工（鋳鉄管）
(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-41
(2) 鋳鉄管切断 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-41
(3) 鋳鉄管吊上げ積込（人力） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-43
(4) 鋳鉄管吊上げ積込（機械） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-44
(5) 鋳鉄管継手取外し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-45
１４ 既設管撤去工（鋼管、ビニル管、ポリエチレン管）
(1) 管切断 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-50
(2) 管吊上げ積込 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-51
１５ 既設管端末処理工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-53
１６ 充填工
(1) 充填工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-54
(2) 流動化充填材 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-54
(3) 充填設備据付撤去工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-54
(4) 管閉塞工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6-54

第７章 路面復旧工
１ アスファルト舗装復旧工
(1) 舗装復旧工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7-1
(2) 路盤すき取り工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7-3
(3) 宅地内舗装工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7-3
２ コンクリート舗装復旧工
(1) コンクリート舗装復旧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7-3
(2) コンクリートエ（舗装復旧用） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7-5
３ 地下埋設物標示鋲設置工
(1) 地下埋設物標示鋲設置工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7-5
(2) 地下埋設物標示鋲設置工（下位代価） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7-6
４ ブロック舗装復旧工
(1) ブロック舗装復旧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7-6
５ 区画線設置工（土木工事標準単価） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7-7

６　視覚障害者誘導標示
(1) 視覚障害者誘導標示（貼付式）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　7-7
(2) 視覚障害者誘導標示（溶融式）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　7-7
(3) 視覚障害者誘導標示（シート式）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　7-7
７　スコッチレーン
(1) 駐輪規制（貼付式）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　7-8
(2) 喫煙制限・美化推進区域（貼付式）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　7-8

第８章　建設副産物処理
１　ダンプトラックの運搬作業
(1) 適用範囲　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　8-1
(2) 運搬距離　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　8-1
(3) 機械運転単価表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　8-1
(4) 工事現場から建設副産物仮置場までの運搬に係る施工歩掛　・・・・・・　Ｐ　8-1
(5) 工事現場から建設副産物仮置場、建設副産物仮置場から再資源化施設等
までの運搬及び処分に係る施工歩掛　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　8-3
(6) 埋戻し土運搬　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　8-5
２　仮置場での積込費（施工パッケージ）
(1) 適用範囲　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　8-5
(2) 条件区分　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　8-5
３　廃プラスチックの運搬処分
(1) 適用範囲　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　8-6
(2) 運搬距離　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　8-6
(3) 工事現場から再資源化施設等までの運搬及び処分に係る施工歩掛　・・　Ｐ　8-6
(4) 現場発生品及び支給品運搬　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　8-6

第９章　運搬工
１　支給材料運搬
(1) 適用範囲　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　9-1
(2) 運搬距離　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　9-1
(3) 千田資材置場又は高陽資材置場から材料置場までの運搬に係る
施工歩掛　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　9-1
(4) 材料置場から工事現場までの運搬に係る施工歩掛　・・・・・・・・・・　Ｐ　9-1
２　撤去材料運搬
(1) 適用範囲　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　9-2
(2) 運搬距離　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　9-2
(3) 工事現場から材料置場までの運搬に係る施工歩掛　・・・・・・・・・・　Ｐ　9-2
(4) 材料置場から千田資材置場又は緑井浄水場までの運搬に係る
施工歩掛　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ　9-2

第１０章　役務費
１　材料置場
(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10-1
(2) 材料置場 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10-1
２　建設副産物仮置場
(1) 適用範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10-1
(2) 建設副産物仮置場 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10-1

第１１章　参考図
１　標準掘削平面図・断面図
(1) 本管布設部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11-1
(2) 本管撤去部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11-1
(3) 新旧管連絡か所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11-1

第１章　土工

１　土量変化率等

本項は「水道事業実務必携」及び、「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。

(1) 土量の変化

土量の変化は次の３つの状態の土量に区分して考える。

地山の土量　・・・・・・・・・　掘削する土量
ほぐした土量　・・・・・・・・　掘削行為により地山がほぐされた状態の土量
締固め後の土量　・・・・・・・　埋戻し・締め固め後の土量

３つの状態の体積比を次式のように表わし、Ｌ及びＣを土量の変化率という。

Ｌ＝ほぐした土量（m3）／　地山の土量（m3）
Ｃ＝締固め後の土量（m3）／　地山の土量（m3）

(2) 土量変化率

統一分類法により分類した土の各土質に応じた変化率は表１を標準とする。なお、土質の細分化が難しい配管工事においては表２を使用してもよい。

表１　土量の変化率

分類名称			変化率 L	変化率 C
主要区分		記号		
レキ質土	レキ	(GW)　(GP) (GPs)　(G-M) (G-C)	1.20	0.95
	レキ質土	(GM)　(GC) (GO)	1.20	0.90
砂質土及び砂	砂	(SW)　(SP) (SPu)　(S-M) (S-C)　(S-V)	1.20	0.95
	砂質土（普通土）	(SM)　(SC) (SV)	1.20	0.90
粘性土	粘性土	(ML)　(CL) (OL)	1.30	0.90
	高含水比粘性土	(MH)　(CH)	1.25	0.90
岩塊・玉石			1.20	1.00
軟岩Ⅰ			1.30	1.15
軟岩Ⅱ			1.50	1.20
中硬岩			1.60	1.25
硬岩Ⅰ			1.65	1.40

※本表は、体積（土量）より求めたＬ及びＣである。

表２　土量の変化率

分類名称 主要区分	変化率 L	変化率 C
レキ質土	1.20	0.90
砂質土及び砂	1.20	0.90
粘性土	1.20	0.90

※本表は、体積（土量）より求めたＬ及びＣである。

(3) 積算対象土量

1) 掘削・積込 ・・・・・・・・ 地山土量
2) 埋戻し、敷均、転圧・・・・ 締固め後土量
3) 埋戻土量 ・・・・・・・・・ 締固め後土量／C
4) 埋戻し土運搬・・・・・・・ 締固め後土量／C
5) 建設発生土運搬処理
   ｱ) 発生土を埋戻に使用する場合…発生土処理量＝掘削土量－埋戻土量
   ｲ) 発生土を埋戻に使用しない場合…発生土処理量＝掘削土量
6) 購入土量

下記のとおり「締固め後の土量」を「ほぐした土量」に換算して算出する。

ｱ) 購入土（再生土含む）→必要な締固め後土量×（L／C） （L／C＝1.33）
ｲ) 購入砂（再生砂含む）→必要な締固め後土量×（L／C） （L／C＝1.26）

なお、小運搬における数量についても「ほぐした土量」を適用する。

注) 購入砂の土量については「ほぐした土量」を算出している。(「労務費及び資材単価表」及び「統一基本単価表」に掲載している購入真砂土並びに購入砂の単価は「ほぐした土量」の単価であり、ロス率を含んでいない単価である。)

2 人力土工

本項は「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。
ただし、4)人力埋戻しについては、「下水道用設計標準歩掛表」に基づくものとする。

(1) 適用範囲

人力土工は、機械施工が出来ない場合に適用する。

(2) 作業内容

人力土工の作業範囲は、次のとおりとする。

1) 人力積込

「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。
ただし、アスファルト殻、コンクリート殻の積込みは、岩塊・玉石とする。

2) 人力盛土（埋戻し）

「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。

3) 人力掘削（床掘）

「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。

4)　人力埋戻し

人力投入した土砂を人力により均しタンパで転圧する一連の作業をいう。

なお、埋戻しか所までの土砂の運搬は含んでいないため、土砂の運搬が必要な場合は別途計上すること。

(3) 施工歩掛

1)　人力積込　･･･CB210830（施工パッケージ）

2)　人力盛土（埋戻し）　･･･CB210410（施工パッケージ）

3)　人力掘削（床掘）　･･･CB210030（施工パッケージ）

4)　人力埋戻し　･･･P1010111

人力埋戻しの施工歩掛は次表を標準とする。

なお、タンパ締固めは「土木工事標準積算基準書」の「土工－作業土工－埋戻工－タンパ締固め」に基づくものとする。

人力埋戻し（砂質土）施工歩掛（100m3 当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	23.000	
タンパ締固め		m3	100.000	施工パッケージ
諸雑費		式	1	端数処理

3　人力運搬工（施工パッケージ）

本項は「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。

4　機械掘削工（配管工事用）

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 適用範囲

本項は、配管工事における床掘りおいてバックホウを用いる場合に適用する。

なお、配管工事であっても、覆工板等の 1 次掘削部には適用できない。

(2) 施工歩掛

1)　掘削工労務

掘削工労務は次表を標準とする。ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　土木一般世話役は、現場での指揮・指導を行うものとする。

(ｲ)　普通作業員は、補助的作業（土砂の切崩し、床均し等）を行うものとする。

(ｳ)　本歩掛を適用する場合は、基面整正を計上しない。

表 2.1　掘削工労務（人/100m3 当り）

掘削機種	土木一般世話役	普通作業員
バックホウ 0.08m3	2.800	7.800
バックホウ 0.13m3	2.400	6.700
バックホウ 0.28m3	1.900	5.000
バックホウ 0.45m3	1.500	3.900

2)　バックホウ運転時間

バックホウ運転時間(D)は次表を標準とする。

表 2.2　バックホウ運転時間（100m3 当り）

土質 / 掘削機種	レキ質土、砂 砂質土、粘性土	岩塊 玉石交じり土
バックホウ 0.08m3	17.200	—
バックホウ 0.13m3	14.800	—
バックホウ 0.28m3	11.100	—
バックホウ 0.45m3	8.800	12.000

3)　日当り施工量

レキ質土、砂、砂質土、粘性土におけるバックホウの 1 日当り施工量は次表を標準とする。

表 2.3　バックホウ日当り施工量

掘削機種	施工量（m3）
バックホウ 0.08m3	38
バックホウ 0.13m3	44
バックホウ 0.28m3	59
バックホウ 0.45m3	74

4) 機械掘削工（小型バックホウ） ･･･P1010103

小型バックホウによる掘削積込の施工歩掛は次表を標準とする。

掘削積込（小型バックホウ）施工歩掛（100m3 当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人		表 2.1
普通作業員		人		表 2.1
バックホウ運転	0.08～0.13m3	日	100 m3／1 日当り施工量	表 2.3
諸雑費		式	1	端数処理

備考　小型バックホウ運転日当り運転時間は、6.5 時間とする。

5) 機械掘削工 ･･･P1010101

バックホウによる掘削積込の施工歩掛は次表を標準とする。

掘削積込施工歩掛（100m3 当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人		表 2.1
普通作業員		人		表 2.1
バックホウ運転	0.28～0.45m3	h		表 2.2
諸雑費		式	1	端数処理

6) 機械運転単価表

機械運転単価表は次表を標準とする。

機械運転単価表

機械名	規格	区分	適用単価表	指定事項
小型バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 （第 2 次基準値） バケット容量 0.08m3	日当り	第 15 表※ 機－23	運転労務数量　1.000 燃料消費量　17.000 機械損料数量　1.780
	クローラ型 排出ガス対策型 （第 2 次基準値） バケット容量 0.13m3		第 16 表※ 機－18	運転労務数量　1.000 燃料消費量　23.000 機械損料数量　1.780
バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 （第 2 次基準値） バケット容量 0.28m3	時間当り	第 17 表※ 機－1	運転労務数量　0.160 燃料消費量　5.900
	クローラ型 排出ガス対策型 （第 2 次基準値） バケット容量 山積 0.45m3			運転労務数量　0.160 燃料消費量　8.600

※水道事業実務必携 第二編参考資料 第 1 章参考歩掛 第 1 節管路土工 参照

5　機械埋戻し（配管工事用）

本項は、「水道事業実務必携」とする。

(1) 適用範囲

本項はバックホウを用いて行う配管工事の埋戻しに適用する。

なお、配管工事であっても、覆工板等の 1 次掘削部の埋戻しには適用できない。

(2) 施工歩掛

1)　バックホウ運転時間

バックホウにより埋戻し用土砂を掘削構内へ投入する作業で、100m3 当りのバックホウの運転時間は次表を標準とする。

表 2.1　バックホウ運転時間（100m3 当り）

土質 / 掘削機種	レキ質土、砂、砂質土
バックホウ 0.08m3	11.400
バックホウ 0.13m3	9.900
バックホウ 0.28m3	7.600
バックホウ 0.45m3	6.200

2)　日当り施工量

バックホウの 1 日当り施工量は次表を標準とする。

表 2.2　バックホウ 1 日当り施工量

掘削機種	施工量(m3)
バックホウ 0.08m3	57
バックホウ 0.13m3	65
バックホウ 0.28m3	85
バックホウ 0.45m3	105

3)　埋戻し工労務

バックホウ埋戻しに伴う労務は次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ)　土木一般世話役は現場での指揮・指導を行うものとする。

(ｲ)　普通作業員は機械投入に伴う補助労務を行うものとする。

表 2.3　埋戻し工労務（100m3 当り）

名称	単位	数量
土木一般世話役	人	2.500
普通作業員	人	3.800

4)　タンパ締固め

タンパ締固め施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ)　普通作業員は締固め補助とする。

(ｲ)　タンパ 1 日当りの施工量は 36m3/日とする。

(ｳ)　タンパは賃料とする。

表 2.4　タンパ締固め歩掛（100m3 当り）

名称	規格	単位	数量
普通作業員		人	3.000
タンパ運転	60～80kg	日	3.000

5)　機械埋戻し（小型バックホウ）　･･･P1010108

小型バックホウによる機械埋戻しの施工歩掛は次表を標準とする。

機械埋戻し（小型バックホウ）管天 20cm 下部施工歩掛（100m3 当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	2.500	
普通作業員		人	6.800	
バックホウ運転	0.08～0.13m3	日	100 m3／1 日当り施工量	表 2.2
タンパ運転	60～80kg	日	3.000	
諸雑費		式	1	端数処理

機械埋戻し（小型バックホウ）管天 20cm 上部施工歩掛（100m3 当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	2.500	
普通作業員		人	6.800	
バックホウ運転	0.08～0.13m3	日	100 m3／1 日当り施工量	表 2.2
タンパ運転	60～80kg	日	3.000	
諸雑費		式	1	端数処理

6)　機械埋戻し（バックホウ）　･･･P1010107

バックホウによる機械埋戻しの施工歩掛は次表を標準とする。

機械埋戻し（バックホウ）管天 20cm 下部施工歩掛（100m3 当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	2.500	
普通作業員		人	6.800	
バックホウ運転	0.28～0.45m3	時間		表 2.1
タンパ運転	60～80kg	日	3.000	
諸雑費		式	1	端数処理

機械埋戻し（バックホウ）管天 20cm 上部施工歩掛（100m3 当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	2.500	
普通作業員		人	6.800	
バックホウ運転	0.28～0.45m3	時間		表 2.1
タンパ運転	60～80kg	日	3.000	
諸雑費		式	1	端数処理

7) 機械運転単価表

機械運転単価表は次表を標準とする。

機械運転単価表

機械名	規格	区分	適用単価表	指定事項
小型バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) バケット容量 0.08m3	日当り	第 15 表※ 機－23	運転労務数量　1.000 燃料消費量　17.000 機械損料数量　1.780
	クローラ型 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) バケット容量 0.13m3		第 16 表※ 機－18	運転労務数量　1.000 燃料消費量　23.000 機械損料数量　1.780
バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) バケット容量 0.28m3	時間当り	第 17 表※ 機－1	運転労務数量　0.160 燃料消費量　5.900
	クローラ型 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) バケット容量 0.45m3			運転労務数量　0.160 燃料消費量　8.600
タンパ及びランマ	ランマ　60～80 kg	日当り	第 18 表※ 機－31	運転労務数量　1.000 燃料消費量　5.000 機械賃料数量　1.380

※水道事業実務必携 第二編参考資料 第 1 章参考歩掛 第 1 節管路土工 参照

第２章　舗装版破砕工

１　舗装版の直接掘削・積込施工歩掛

本項は、バックホウ 0.45m3、バックホウ 0.28m3 及び 0.13m3 の直接掘削・積込は「水道事業実務必携」に基づくものとする。また、バックホウ 0.28m3 の直接掘削・積込（小割）については、「広島市水道局独自基準」とする。

(1) 適用範囲

配管工事において、舗装版をバックホウにより直接掘削・積込する作業に適用する。

(2) 施工歩掛

1) 編成人員

掘削・積込機種の編成人員は次表を標準とする。

普通作業員は、直接掘削・積込作業の補助労務であり、基面整正は含まない。

掘削・積込機種の編成人員（100m2 当り）

掘削・積込機種	土木一般世話役		普通作業員	
	舗装厚 10cm 以下	舗装厚 10cm 超 15cm 以下	舗装厚 10cm 以下	舗装厚 10cm 超 15cm 以下
ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	0.490	0.610	0.740	0.910
ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3	0.420	0.510	0.630	0.760
ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3	0.350	0.410	0.520	0.610

掘削・積込（小割）機種の編成人員（100m2 当り）

掘削・積込機種	土木一般世話役		普通作業員	
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3（小割）	0.400	0.568	0.400	0.568

2) バックホウ運転時間

舗装版を直接掘削・積込する場合のバックホウ運転時間は次表のとおりとする。

掘削・積込機種のバックホウ運転時間（100m2 当り）

舗装厚	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3
10cm 以下	3.930	3.350	2.760
10cm 超 15cm 以下	4.840	4.050	3.270

掘削・積込（小割）機種のバックホウ運転時間（100m2 当り）

舗装厚	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3	
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
10cm 超 15cm 以下（小割）	2.600	3.690

3) 日当り施工量

バックホウの 1 日当り施工量は次表を標準とする。

バックホウ 1 日当り施工量

舗装厚	施工量（m3）		
	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3
10cm 以下	165	194	236
10cm 超 15cm 以下	134	160	199

バックホウ（小割） 1 日当り施工量

舗装厚	施工量（m3）	
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
10cm 超 15cm 以下（小割）	250	176

4) 機械運転単価表

機械運転単価表は次表を標準とする。

機械運転単価表

機械名	規格	区分	適用単価表	指定事項
小型バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 （第 2 次基準値） バケット容量 0.13m3	日当り	第 16 表※ 機－18	運転労務数量 1.000 燃料消費量 23.000 機械損料数量 1.780
バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 （第 2 次基準値） バケット容量 0.28m3	時間当り	第 17 表※ 機－1	運転労務数量 0.160 燃料消費量 5.900 機械損料数量 1.000
	クローラ型 排出ガス対策型 （第 2 次基準値） バケット容量 0.45m3			運転労務数量 0.160 燃料消費量 8.600 機械損料数量 1.000

※水道事業実務必携 第二編参考資料 第 1 章参考歩掛 第 1 節管路土工 参照

機械運転単価表（小割）

機械名	規格	区分	適用単価表	指定事項
バックホウ（小割）	クローラ型 排出ガス対策型 （第 2 次基準値） バケット容量 0.28m3	日当り	第 16 表※ 機－18	運転労務数量 1.000 燃料消費量 34.000 機械損料数量 1.500

※水道事業実務必携 第二編参考資料 第 1 章参考歩掛 第 1 節管路土工 参照

5) 舗装版直接掘削・積込 ･･･P1010132

舗装版をバックホウにより直接掘削・積込する場合の施工歩掛は次表を標準とする。
ただし、舗装版を小割する場合には適用できないものとする。

舗装版直接掘削・積込施工歩掛①（100m2 当り）

名称	規格	単位	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3				摘要
			ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装		
			10cm 以下	10cm 超 15cm 以下	10cm 以下	10cm 超 15cm 以下	
土木一般世話役		人	0.490	0.610	0.490	0.610	
普通作業員		人	0.740	0.910	0.740	0.910	
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転	排ｶﾞｽ対策型（第 2 次基準値）	日	0.606	0.746	0.606	0.746	100m3/１日当り施工量
諸雑費		式	1	1	1	1	端数処理

備考　小型バックホウ運転日当り運転時間は、6.5 時間とする。

舗装版直接掘削・積込施工歩掛②（100m2 当り）

名称	規格	単位	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3				摘要
			ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装		
			10cm 以下	10cm 超 15cm 以下	10cm 以下	10cm 超 15cm 以下	
土木一般世話役		人	0.420	0.510	0.420	0.510	
普通作業員		人	0.630	0.760	0.630	0.760	
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転	排ｶﾞｽ対策型（第 2 次基準値）	時間	3.350	4.050	3.350	4.050	
諸雑費		式	1	1	1	1	端数処理

舗装版直接掘削・積込施工歩掛③（100m2 当り）

名称	規格	単位	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3				摘要
			ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装		
			10cm 以下	10cm 超 15cm 以下	10cm 以下	10cm 超 15cm 以下	
土木一般世話役		人	0.350	0.410	0.350	0.410	
普通作業員		人	0.520	0.610	0.520	0.610	
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転	排ｶﾞｽ対策型（第 2 次基準値）	時間	2.760	3.270	2.760	3.270	
諸雑費		式	1	1	1	1	端数処理

6) 舗装版直接掘削・積込（小割） ･･･P1010136

舗装版を小割に切断した後、バックホウにより直接掘削・積込する場合の施工歩掛は次表を標準とする。

舗装版直接掘削・積込（小割）施工歩掛（100m2 当り）

名称	規格	単位	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3		摘要
			ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	
			15cm 超 40cm 以下	15cm 超 35cm 以下	
土木一般世話役		人	0.400	0.568	
普通作業員		人	0.400	0.568	
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転	排ｶﾞｽ対策型（第 2 次基準値）	日	0.400	0.568	100m3/1 日当り施工量
諸雑費		式	1	1	端数処理

2 舗装版切断工（施工パッケージ）

本項は「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。

第３章　舗装工

１　路盤工

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 適用範囲

本項は、配管工事におけるアスファルト舗装及びコンクリート舗装の路盤工に適用する。

したがって、一般的な土木工事（配管工事を伴わない道路の舗装及び場内舗装等）には適用できない。

(2) 一層当りの最大仕上げ厚さ

路盤工における一層当りの最大仕上げ厚さは次表のとおりとする。

一層当りの最大仕上げ厚さ

路盤の種類	上層路盤	下層路盤
粒調砕石路盤 切込砕石路盤 再生粒調砕石路盤 再生切込砕石路盤	15cm	20cm

(3) 路盤材の使用数量

路盤材の使用数量は設計数量に次表のロス率を割増する。

使用量(m3)＝設計数量(m3)×(１＋K)

路盤材のロス率（K）

ロス率	＋0.27

(4) 施工歩掛

1)　使用機械

不陸整正及び路盤工の締め固めに使用する機械は次表を標準とする。

表 3.1　使用機械

施工幅	機種	規格	単位	数量
1.8m未満	タンパ	60～80kg	台	1
1.8m以上	振動ローラ	排出ガス対策１次 搭乗式コンバインド型 3～4ｔ	台	1
	タンパ	60～80kg	台	1

2)　労務歩掛

路盤工における労務歩掛は次表を標準とする。

表 3.2　編成人員（人/100m2･1 層当り）

施工幅	工種	単位	普通作業員
1.8m未満	路盤工	人	0.780
1.8m以上	路盤工	人	0.710

3) 機械の 100m2 当り施工量

路盤工における機械の 100m2 当り施工量は次表を標準とする。

表 3.3　100m2 当り施工量(日/100m2･1 層当り)

施工幅	工種	単位	
1.8m未満	路盤工	日	0.450
1.8m以上	路盤工	日	0.200

4) 路盤工施工歩掛　･･･P1010135

路盤工施工歩掛は次表を標準とする。

再生粒度調整砕石（施工幅 1.8m未満）上層路盤施工歩掛（100m2 当り）

名称	規格	単位	路盤厚							摘要
			11cm	12cm	16cm	17cm	22cm	26cm	38cm	
普通作業員		人	0.780	0.780	1.560	1.560	1.560	1.560	2.340	
再生粒度調整砕石	RM-30,40	m3	100m2×路盤厚(m)×1.27							
タンパ	60～80kg	日	0.450	0.450	0.900	0.900	0.900	0.900	1.350	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	1	端数処理

再生粒度調整砕石（施工幅 1.8m以上）上層路盤施工歩掛（100m2 当り）

名称	規格	単位	路盤厚							摘要
			11cm	12cm	16cm	17cm	22cm	26cm	38cm	
普通作業員		人	0.710	0.710	1.420	1.420	1.420	1.420	2.130	
再生粒度調整砕石	RM-30,40	m3	100m2×路盤厚(m)×1.27							
振動ローラ	ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型 3～4ｔ	日	0.200	0.200	0.400	0.400	0.400	0.400	0.600	
タンパ	60～80kg	日	0.200	0.200	0.400	0.400	0.400	0.400	0.600	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	1	端数処理

再生砕石（施工幅 1.8m未満）下層路盤施工歩掛（100m2 当り）

名称	規格	単位	路盤厚					摘要
			10cm	11cm	15cm	17cm	20cm	
普通作業員		人	0.780	0.780	0.780	0.780	0.780	
再生砕石	RC-30,40	m3	100m2×路盤厚(m)×1.27					
タンパ	60～80kg	日	0.450	0.450	0.450	0.450	0.450	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

再生砕石（施工幅 1.8m未満）下層路盤施工歩掛（100m2 当り）

名称	規格	単位	路盤厚					摘要
			21cm	27cm	31cm	37cm		
普通作業員		人	1.560	1.560	1.560	1.560		
再生砕石	RC-30,40	m3	100m2×路盤厚(m)×1.27					
タンパ	60～80kg	日	0.900	0.900	0.900	0.900		
諸雑費		式	1	1	1	1		端数処理

再生砕石（施工幅1.8m以上）下層路盤施工歩掛（100m2当り）

名称	規格	単位	路盤厚					摘要
			10cm	11cm	15cm	17cm	20cm	
普通作業員		人	0.710	0.710	0.710	0.710	0.710	
再生砕石	RC-30,40	m3	100m2×路盤厚(m)×1.27					
振動ローラ	ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型 3～4ｔ	日	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	
タンパ	60～80kg	日	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

再生砕石（施工幅1.8m以上）下層路盤施工歩掛（100m2当り）

名称	規格	単位	路盤厚					摘要
			21cm	27cm	31cm	37cm		
普通作業員		人	1.420	1.420	1.420	1.420		
再生砕石	RC-30,40	m3	100m2×路盤厚(m)×1.27					
振動ローラ	ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型 3～4ｔ	日	0.400	0.400	0.400	0.400		
タンパ	60～80kg	日	0.400	0.400	0.400	0.400		
諸雑費		式	1	1	1	1		端数処理

5) 路盤工機械運転歩掛

路盤工機械運転歩掛は次表を標準とする。

機械運転単価表

機械名	規格	区分	適用単価表	指定事項
振動ローラ	排出ガス対策型1次 搭乗式コンバインド型3～4ｔ	日当り	第34表※ 機－28	運転労務（特殊運転手） 1.000 燃料消費量（軽油） 13.000 機械賃料数量 1.520
タンパ	60～80kg	日当り	第18表※ 機－31	運転労務（特殊作業員） 1.000 燃料消費量（ｶﾞｿﾘﾝ） 4.000 機械賃料数量 1.610

※水道事業実務必携 第二編参考資料 第1章参考歩掛 第1節管路土工 参照

2 仮舗装工（アスファルト舗装工）･･･P1010137（施工パッケージ）

本項は「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。

第４章　コンクリート工

１　コンクリート工（施工パッケージ）

本項は「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。

２　モルタル練工（施工パッケージ）

本項は「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。

３　型枠工（施工パッケージ、省力化構造を除く）

本項は「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。

４　基礎砕石工（施工パッケージ）

本項は「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。

第５章　仮設工

１　土留

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

なお、本項は配管工事で一般的に行う「アルミ矢板・軽量鋼矢板建込・引抜」について記載しているものであり、鋼矢板の圧入等を積算する場合については「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。

(1) 適用範囲

本歩掛は、アルミ矢板（標準有効幅 333 ㎜）、軽量鋼矢板（標準有効幅 250㎜）を上部掘削と同時に建て込み、根入れを常に確保しながら繰り返し掘り下げて床付ける建て込み工法に適用する。なお、床付けまで掘削してから土留めを行う、あて矢板工法には適用できない。

(2) 施工歩掛

1)　矢板長の決定

矢板長の決定は次表による。

矢板長	掘削深さ	矢板長	掘削深さ
1.5m	1.3m以下	3.0m	2.3mを超え2.8m以下
2.0m	1.3mを超え1.8m以下	3.5m	2.8mを超え3.3m以下
2.5m	1.8mを超え2.3m以下	4.0m	3.3mを超え3.8m以下

2)　アルミ矢板建込引抜施工歩掛

アルミ矢板建込引抜の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ)　建て込みに使用する機械はバックホウを、引き抜きに使用する機械はトラッククレーン（4.9t 吊り）またはバックホウを標準とし、建て込み作業においてバックホウクレーン機能付きを使用する場合、引き抜き作業に使用する機械はバックホウクレーン機能付きを標準とする。

(ｲ)　バックホウ運転費は、掘削と同様とする。

(ｳ)　本歩掛は矢板使用率 100%のものである。

(ｴ)　本歩掛は 20cm の根入れ深さを見込んでいるので、掘削深さに対する矢板長は根入れ深さを考慮して積算すること。

アルミ矢板建込引抜歩掛表（両側分）機械施工（100m当り）

掘削深	建込					引抜				
	労務費			小型 BH 運転費（日）	BH 運転費（時間）	労務費			ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ賃料（日）	BH 運転費（時間）
	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員			土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員		
1.5m 以下	1.600	1.600	4.800	1.300	8.400	0.700	0.700	2.100	0.500	3.500
2.0m 以下	1.700	1.700	5.100	1.400	9.400	0.700	0.700	2.100	0.600	4.100
2.5m 以下	1.900	1.900	5.700	1.600	10.500	0.700	0.700	2.100	0.700	4.800
3.0m 以下	2.000	2.000	6.000	1.800	12.000	0.800	0.800	2.400	0.800	5.400
3.5m 以下	2.200	2.200	6.600	2.000	13.200	0.800	0.800	2.400	0.900	6.100
3.8m 以下	2.300	2.300	6.900	2.200	14.200	0.800	0.800	2.400	1.000	6.600

3)　アルミ矢板建込引抜単価表（機械）　･･･P1050013

アルミ矢板建込引抜の施工歩掛は次表を標準とする。

アルミ矢板建込引抜施工歩掛（機械）（100ｍ当り）

名称	規格	単位	掘削深						摘要
			1.5m以下	2.0m以下	2.5m以下	3.0m以下	3.5m以下	3.8m以下	
アルミ矢板賃料		m	100.000						
土木一般世話役		人	2.300	2.400	2.600	2.800	3.000	3.100	
特殊作業員		人	2.300	2.400	2.600	2.800	3.000	3.100	
普通作業員		人	6.900	7.200	7.800	8.400	9.000	9.300	
小型ﾊﾞｯｸﾎｳ運転費	BH0.13m3	日	1.300	1.400	1.600	1.800	2.000	2.200	建込
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ賃料	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 4.9t 吊	日	0.500	0.600	0.700	0.800	0.900	1.000	引抜
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	掘削深						摘要
			1.5m以下	2.0m以下	2.5m以下	3.0m以下	3.5m以下	3.8m以下	
アルミ矢板賃料		m	100.000						
土木一般世話役		人	2.300	2.400	2.600	2.800	3.000	3.100	
特殊作業員		人	2.300	2.400	2.600	2.800	3.000	3.100	
普通作業員		人	6.900	7.200	7.800	8.400	9.000	9.300	
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転費	BH0.28m3	時間	8.400	9.400	10.500	12.000	13.200	14.200	建込
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ賃料	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 4.9t 吊	日	0.500	0.600	0.700	0.800	0.900	1.000	引抜
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	掘削深						摘要
			1.5m以下	2.0m以下	2.5m以下	3.0m以下	3.5m以下	3.8m以下	
アルミ矢板賃料		m	100.000						
土木一般世話役		人	2.300	2.400	2.600	2.800	3.000	3.100	
特殊作業員		人	2.300	2.400	2.600	2.800	3.000	3.100	
普通作業員		人	6.900	7.200	7.800	8.400	9.000	9.300	
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転費	BH0.45m3	時間	8.400	9.400	10.500	12.000	13.200	14.200	建込
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転費	BH0.45m3 吊能力 2.9t	時間	3.500	4.100	4.800	5.400	6.100	6.600	引抜
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

4) 軽量鋼矢板建込引抜施工歩掛

軽量鋼矢板建込引抜の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ) 建て込みに使用する機械はバックホウをまた､引き抜きに使用する機械はトラッククレーン（4.9t 吊り）を標準とするが、機械施工が不可能又は不適切な場合は人力施工によることができるものとする。

(ｲ) バックホウ運転費は、掘削と同様とする。

(ｳ) 本歩掛は矢板使用率 100%のものである。

(ｴ) 本歩掛は 20cm の根入れ深さを見込んでいるので、掘削深さに対する矢板長は根入れ深さを考慮して積算すること。

軽量鋼矢板建込引抜歩掛表（両側分）機械施工（100ｍ当り）

掘削深	建込					引抜				
	労務費			小型 BH 運転費（日）	BH 運転費（時間）	労務費			ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ賃料(日)	BH 運転費（時間）
	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員			土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員		
1.5m 以下	1.700	1.700	5.100	1.700	11.000	0.900	0.900	2.700	0.900	5.700
2.0m 以下	2.000	2.000	6.000	1.800	11.600	0.900	0.900	2.700	1.000	6.200
2.5m 以下	2.400	2.400	7.200	1.900	12.500	0.900	0.900	2.700	1.000	6.500
3.0m 以下	2.800	2.800	8.400	2.100	13.400	1.000	1.000	3.000	1.100	6.900
3.5m 以下	3.100	3.100	9.300	2.200	14.600	1.000	1.000	3.000	1.200	7.600
3.8m 以下	3.400	3.400	10.200	2.300	15.000	1.100	1.100	3.300	1.200	7.900

5) 軽量鋼矢板建込引抜単価表（機械） ･･･P1050003

機械（バックホウ）による軽量鋼矢板建込引抜の施工歩掛は次表を標準とする。

軽量鋼矢板建込引抜施工歩掛（機械）（100ｍ当り）

名称	規格	単位	掘削深						摘要
			1.5m 以下	2.0m 以下	2.5m 以下	3.0m 以下	3.5m 以下	3.8m 以下	
軽量鋼矢板賃料		m	100.000						
土木一般世話役		人	2.600	2.900	3.300	3.800	4.100	4.500	
特殊作業員		人	2.600	2.900	3.300	3.800	4.100	4.500	
普通作業員		人	7.800	8.700	9.900	11.400	12.300	13.500	
小型ﾊﾞｯｸﾎｳ運転費	BH0.13m3	日	1.700	1.800	1.900	2.100	2.200	2.300	建込
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ賃料	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 4.9t 吊	日	0.900	1.000	1.000	1.100	1.200	1.200	引抜
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	掘削深						摘要
			1.5m 以下	2.0m 以下	2.5m 以下	3.0m 以下	3.5m 以下	3.8m 以下	
軽量鋼矢板賃料		m	100.000						
土木一般世話役		人	2.600	2.900	3.300	3.800	4.100	4.500	
特殊作業員		人	2.600	2.900	3.300	3.800	4.100	4.500	
普通作業員		人	7.800	8.700	9.900	11.400	12.300	13.500	
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転費	BH0.28m3	時間	11.000	11.600	12.500	13.400	14.600	15.000	建込
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ賃料	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 4.9t 吊	日	0.900	1.000	1.000	1.100	1.200	1.200	引抜
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	掘削深						摘要
			1.5m 以下	2.0m 以下	2.5m 以下	3.0m 以下	3.5m 以下	3.8m 以下	
軽量鋼矢板賃料		m	100.000						
土木一般世話役		人	2.600	2.900	3.300	3.800	4.100	4.500	
特殊作業員		人	2.600	2.900	3.300	3.800	4.100	4.500	
普通作業員		人	7.800	8.700	9.900	11.400	12.300	13.500	
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転費	BH0.45m3	時間	11.000	11.600	12.500	13.400	14.600	15.000	建込
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転費	BH0.45m3 吊能力 2.9t	時間	5.700	6.200	6.500	6.900	7.600	7.900	引抜
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

6) 軽量鋼矢板建込引抜単価表（人力） ･･･P1050001

人力による軽量鋼矢板建込引抜の施工歩掛は次表を標準とする。

軽量鋼矢板建込引抜施工歩掛（人力）（100m当り）

名称	規格	単位	矢板長						摘要
			1.5m	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m	4.0m	
軽量鋼矢板賃料		m	100.00						
土木一般世話役		人	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	
普通作業員		人	32.470	32.470	41.000	49.530	58.060	66.580	建込
普通作業員		人	23.880	23.880	29.850	35.820	41.790	47.760	引抜
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

2 アルミ矢板基本料 ･･･P1050024

本項は「物価資料（積算資料電子版及び Web 建設物価）」に基づくものとする。

ただし、アルミ矢板基本料の計上は、矢板長ごとに集計し、10m分を限度とする。

3　軽量金属支保工

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 適用範囲

本項は、開削工法の土留支保工設置・撤去において、軽量金属支保材を使用する場合に適用する。

(2) 施工歩掛

1)　軽量金属支保材設置・撤去労務歩掛

軽量金属支保材の設置・撤去労務歩掛は次表を標準とする。

切梁・腹起し設置・撤去歩掛　掘削幅 0.6～0.65m　（100m当り）

設置段数		2.0m 以下 1 段			3.5m 以下 2 段			3.8m 以下 3 段		
労務		土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	一般世話役	特殊作業員	普通作業員
軽量金属製腹起し材	設置	0.400	0.400	1.200	0.800	0.800	2.400	1.300	1.300	3.900
	撤去	0.300	0.300	0.900	0.600	0.600	1.800	0.900	0.900	2.700
鋼製ｽﾘﾑ式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ	設置	0.300	0.300	0.900	0.400	0.400	1.200	0.700	0.700	2.100
	撤去	0.300	0.300	0.900	0.400	0.400	1.200	0.700	0.700	2.100
計		1.300	1.300	3.900	2.200	2.200	6.600	3.600	3.600	10.800

切梁・腹起し設置・撤去歩掛　掘削幅 0.7～2.0m　（100m当り）

設置段数		2.0m 以下 1 段			3.5m 以下 2 段			3.8m 以下 3 段		
労務		土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
軽量金属製腹起し材	設置	0.400	0.400	1.200	0.800	0.800	2.400	1.300	1.300	3.900
	撤去	0.300	0.300	0.900	0.600	0.600	1.800	0.900	0.900	2.700
鋼製水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ	設置	0.200	0.200	0.600	0.400	0.400	1.200	0.700	0.700	2.100
	撤去	0.200	0.200	0.600	0.400	0.400	1.200	0.600	0.600	1.800
計		1.100	1.100	3.300	2.200	2.200	6.600	3.500	3.500	10.500

2)　支保工設置・撤去施工歩掛　･･･P1050012

支保工設置・撤去の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛は、開削工法で掘削深 3.8m 以下の場合に適用する。

(ｲ)　土木一般世話役､特殊作業員及び普通作業員の人数は腹起し材施工歩掛と切梁材施工歩掛を合計して求めること。

支保工設置・撤去施工歩掛（100m当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人		
特殊作業員		人		
普通作業員		人		
諸雑費		式	1	率なし

４　軽量金属製支保材基本料

本項は、「土木工事標準積算基準書」及び「物価資料（積算資料電子版及びWeb建設物価）」に基づくものとする。

(1) 軽量金属製支保材賃料　･･･P1050022

軽量金属製支保材の賃料・基本料歩掛は、次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ)　本歩掛は、開削工法で掘削深3.8m以下の場合に適用する。

(ｲ)　賃料の計上（水圧ポンプを除く）は、掘削幅ごとに集計し、10m分を限度とする。
ただし、掘削幅が同じで施工段数が異なる条件となる場合は、転用を考慮すること。

(ｳ)　切梁に水圧サポートを使用する場合は､水圧ポンプの賃料及び基本料を計上すること。

名称	掘削幅	段数	単位	数量	切梁規格	適用
切梁・腹起し材賃料・基本料	0.60～0.65m	1段又は2段又は3段	m		ﾈｼﾞ式サポート	P1050020
	0.70～0.85m		m		水圧サポート	
	0.90～1.10m		m			
	1.15～1.50m		m			
	1.55～2.00m		m			
水圧ﾎﾟﾝﾌﾟ賃料※			台	1.000		Z8113201
水圧ﾎﾟﾝﾌﾟ基本料※			台	1.000		Z8113501

※　水圧ﾎﾟﾝﾌﾟ賃料及び水圧ﾎﾟﾝﾌﾟ基本料は、切梁規格が水圧ｻﾎﾟｰﾄの場合に計上する。

(2) 切梁・腹起し材賃料・基本料単価　･･･P1050020

切梁・腹起し材賃料・基本料の単価は次表のとおりとする。

切梁・腹起し材賃料・基本料単価表（10m当り）

名称	規格	単位	掘削幅	
			0.6～0.65m	0.7～2.0m
腹起し材賃料	ｱﾙﾐ製 70mm×130mm×4m	本	○	○
腹起し材基本料		本	○	○
切梁材賃料	ﾈｼﾞ式ｻﾎﾟｰﾄ(鋼製)0.35m～0.45m	本	○	
	水圧ｻﾎﾟｰﾄ0.45m～1.80m	本		○
ﾈｼﾞ式ｻﾎﾟｰﾄ(鋼製)基本料		本	○	
水圧ｻﾎﾟｰﾄ基本料		本		○

(3) 切梁・腹起し材使用本数

掘削深さ及び掘削幅による切梁・腹起し材の使用本数は次表のとおりとする。

掘削深さ 2m以下－軽量金属支保材１段（10m当り）

名称	規格	単位	掘削幅				
			0.60～0.65m	0.70～0.85m	0.90～1.10	1.15～1.50m	1.55～2.00m
腹起し材賃料	ｱﾙﾐ製	本	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000
腹起し材基本料	70mm×130mm×4m	本	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000
切梁材賃料	ﾈｼﾞ式 0.35～0.45m	本	5.000				
	水圧式 0.45～0.65m	本		5.000			
	水圧式 0.59～0.90m	本			5.000		
	水圧式 0.77～1.30m	本				5.000	
	水圧式 1.10～1.80m	本					5.000
ﾈｼﾞ式ｻﾎﾟｰﾄ(鋼製)基本料			5.000				
水圧ｻﾎﾟｰﾄ基本料				5.000	5.000	5.000	5.000

掘削深さ 3.5m以下－軽量金属支保材２段（10m当り）

名称	規格	単位	掘削幅				
			0.60～0.65m	0.70～0.85m	0.90～1.10	1.15～1.50m	1.55～2.00m
腹起し材賃料	ｱﾙﾐ製	本	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000
腹起し材基本料	70mm×130mm×4m	本	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000
切梁材賃料	ﾈｼﾞ式 0.35～0.45m	本	10.000				
	水圧式 0.45～0.65m	本		10.000			
	水圧式 0.59～0.90m	本			10.000		
	水圧式 0.77～1.30m	本				10.000	
	水圧式 1.10～1.80m	本					10.000
ﾈｼﾞ式ｻﾎﾟｰﾄ(鋼製)基本料			10.000				
水圧ｻﾎﾟｰﾄ基本料				10.000	10.000	10.000	10.000

掘削深さ 3.8m以下－軽量金属支保材３段（10m当り）

名称	規格	単位	掘削幅				
			0.60～0.65m	0.70～0.85m	0.90～1.10	1.15～1.50m	1.55～2.00m
腹起し材賃料	ｱﾙﾐ製	本	15.000	15.000	15.000	15.000	15.000
腹起し材基本料	70mm×130mm×4m	本	15.000	15.000	15.000	15.000	15.000
切梁材賃料	ﾈｼﾞ式 0.35～0.45m	本	15.000				
	水圧式 0.45～0.65m	本		15.000			
	水圧式 0.59～0.90m	本			15.000		
	水圧式 0.77～1.30m	本				15.000	
	水圧式 1.10～1.80m	本					15.000
ﾈｼﾞ式ｻﾎﾟｰﾄ(鋼製)基本料			15.000				
水圧ｻﾎﾟｰﾄ基本料				15.000	15.000	15.000	15.000

5　新旧管仮片送工

本項は「広島市水道局独自基準」とする。

(1) 適用範囲

本歩掛は、口径 200㎜ 以下において、新旧管連絡等に伴い、新設本管及び既設本管を一時的に片送り（行止り）にし、水質保持のために管末付近で本管内の排水ができる状態を確保する場合に適用する。

(2) 施工歩掛　･･･P1050060

本歩掛は、口径 200㎜ 以下において、新旧管連絡等に伴い、新設本管及び既設本管を一時的に片送り（行止り）にし、水質保持のために管末付近で本管内の排水ができる状態を確保する歩掛であり、次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛の材料単価は、工事間転用を可とし、損料率を 1/3 とするため、通常の 1/3 の金額とする。

(ｲ)　新旧管仮片送工の口径は、新旧管連絡か所の既設管口径を見込む。

新旧管仮片送工施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	75㎜	100㎜	150㎜	200㎜	摘要
特殊作業員		人	1.350	1.350	1.430	1.530	
普通作業員		人	1.340	1.340	1.420	1.520	
ﾒｶﾆｶﾙ帽	K 特殊形押輪,ｺﾞﾑ輪,ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄ含む 損料率 1/3	個	5.000	5.000	5.000	5.000	
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	50㎜ HI 損料率 1/3	m	0.620	0.620	0.620	0.620	
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	40㎜ HI 損料率 1/3	m	5.890	5.890	5.890	5.890	
ﾊﾞﾙﾌﾞｿｹｯﾄ	50㎜ HI 損料率 1/3	個	3.100	3.100	3.100	3.100	
径違いｿｹｯﾄ	φ50×40 HI 損料率 1/3	個	3.100	3.100	3.100	3.100	
ﾊﾞﾙﾌﾞｿｹｯﾄ	40㎜ HI 損料率 1/3	個	6.200	6.200	6.200	6.200	
ｴﾙﾎﾞ	40㎜ HI 損料率 1/3	個	9.300	9.300	9.300	9.300	
甲型止水栓	φ40 ねじ込み形,ﾊﾝﾄﾞﾙ付 損料率 1/3	個	3.100	3.100	3.100	3.100	
止水栓ﾎﾞｯｸｽ	甲 損料率 1/3	個	6.200	6.200	6.200	6.200	
赤ﾚﾝｶﾞ	損料率 1/3	個	12.400	12.400	12.400	12.400	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

6　路面覆工

(1) 適用範囲

本項は、不断水工法を含む開削工事や立坑設置を含む推進工事等で路面覆工する場合に適用することができる。ただし、現場条件等により、本項にそぐわない場合は、個別に検討すること。

(2) 覆工板・覆工板受桁設置撤去工　･･･P1050033

本項は、「下水道用設計標準歩掛表」に基づくものとする。

(3) 覆工板開閉工　･･･P1050038

本項は、「下水道用設計標準歩掛表」に基づくものとする。

(4) 路面すりつけ　･･･P1050040

本項は、「広島市水道局独自基準」に基づくものとし、施工歩掛は次表を標準とする。

路面すりつけ施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	0.56	
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ合材	再生密粒度ｱｽｺﾝ 13mm	t	0.15	
諸雑費	材料費	%	3	率あり

第６章　配管工事

１　管吊込み据付

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 鋳鉄管吊込み据付

1)　鋳鉄管吊込み据付（機械力）　･･･P1070101

鋳鉄管吊込み据付（機械力）の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛には、20ｍ程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ)　本歩掛は、一般的な配管工事における標準的な鋳鉄管吊込み据付の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

(ｳ)　吊込み管径 350㎜以下の吊込み機械は、現場の状況に応じトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型）4.9ｔ吊またはバックホウ（クレーン仕様）クローラ型クレーン機能付2.9ｔ吊を使用することができる。

なお、バックホウ（クレーン仕様）は、「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械であること。

(ｴ)　16ｔ吊以上のクレーン機種は、ラフテレーンクレーン油圧伸縮ジブ型とする。

鋳鉄管吊込み据付（機械力）施工歩掛（10ｍ当り）

名称	規格	単位	≦75㎜	100㎜	150㎜	200㎜	250㎜	摘要
特殊作業員		人	0.060	0.070	0.090	0.100	0.110	
普通作業員		人	0.130	0.130	0.150	0.160	0.170	
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t積･2.9t吊	h	1.210	1.210	1.340	1.410	1.470	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	300㎜	350㎜	400㎜	450㎜	500㎜	摘要
特殊作業員		人	0.130	0.170	0.210	0.250	0.290	
普通作業員		人	0.190	0.250	0.310	0.370	0.430	
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t積･2.9t吊	h	1.540	1.610	—	—	—	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(賃料)	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ4.9t吊	日	—	—	0.290	0.300	0.320	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	600㎜	700㎜	800㎜	900㎜	1000㎜	摘要
特殊作業員		人	0.360	0.440	0.520	0.630	0.780	
普通作業員		人	0.550	0.660	0.800	0.920	1.170	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(賃料)	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ4.9t吊	日	0.340	0.360	0.390	0.410	—	
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ(賃料)	16ｔ吊	日	—	—	—	—	0.450	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

2)　鋳鉄管吊込み据付（人力）　･･･P1070102

鋳鉄管吊込み据付（人力）の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ)　本歩掛は、一般的な配管工事における標準的な鋳鉄管吊込み据付の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

鋳鉄管吊込み据付（人力）施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	≦75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.170	0.190	0.250	0.370	0.500	
普通作業員		人	0.520	0.650	0.910	1.130	1.380	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	300mm	350mm	400mm	450mm	500mm	摘要
特殊作業員		人	0.650	0.900	1.140	1.400	1.650	
普通作業員		人	1.660	1.980	2.370	2.760	3.170	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	600mm	700mm	800mm	900mm	1000mm	摘要
特殊作業員		人	2.160	2.680	3.290	3.710	4.220	
普通作業員		人	4.000	4.820	5.610	6.420	7.620	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

(2) 鋼管小口径管据付（人力）　･･･P1070103

鋼管小口径管据付の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ)　本歩掛は、一般的な配管工事における標準的な鋼管吊込み据付の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

鋼管小口径管据付施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	13mm	20mm	25mm	32mm	40mm	50mm	摘要
特殊作業員		人	0.100	0.110	0.130	0.140	0.150	0.180	
普通作業員		人	0.100	0.120	0.130	0.140	0.160	0.180	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	80mm	100mm	125mm	150mm			摘要
特殊作業員		人	0.200	0.230	0.250	0.300			
普通作業員		人	0.230	0.250	0.300	0.350			
諸雑費		式	1	1	1	1			端数処理

(3) 硬質塩化ビニル管据付　･･･P1070104

硬質塩化ビニル管据付の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ)　本歩掛は､一般的な配管工事における標準的なビニル管吊込み据付の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

硬質塩化ビニル管据付施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	13mm	16mm	20mm	25mm	30mm	40mm	摘要
特殊作業員		人	0.060	0.060	0.070	0.070	0.080	0.080	
普通作業員		人	0.100	0.100	0.120	0.120	0.140	0.140	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	50mm	75mm	100mm	125mm	150mm		摘要
特殊作業員		人	0.100	0.100	0.120	0.120	0.180		
普通作業員		人	0.180	0.180	0.200	0.200	0.260		
諸雑費		式	1	1	1	1	1		端数処理

(4) ポリエチレン管据付　･･･P1070105

ポリエチレン管据付の施工歩掛は次表を標準とする。

本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

ポリエチレン管据付施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	摘要
特殊作業員		人	0.060	0.070	0.070	0.080	0.080	0.100	
普通作業員		人	0.100	0.120	0.120	0.140	0.140	0.180	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

ポリエチレン管（融着接合(EF 接合)）据付施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	50mm		75mm	100mm	150mm	200mm		摘要
特殊作業員		人	0.100		0.100	0.120	0.180	0.250		
普通作業員		人	0.180		0.180	0.200	0.260	0.490		
諸雑費		式	1		1	1	1	1		端数処理

2　継手工

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1)　Ｔ形継手　･･･P1070201

Ｔ形継手の既設管に設置する特殊形押輪の施工歩掛は次表を標準とする。

Ｔ形継手（特殊押輪・既設管設置）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	≦75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.015	0.015	0.015	0.018	0.021	
普通作業員		人	0.015	0.015	0.015	0.018	0.021	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

(2)　ＧＸ形継手　･･･P1070180

ＧＸ形継手の施工歩掛は次表を標準とする。

(ｱ)　既設の直管に特殊割押輪を設置する施工歩掛は、Ｋ形標準継手の施工歩掛の 30%とする。

(ｲ)　G-Link の施工歩掛は、押輪使用部の異形管の施工歩掛の 60%増とする。

(ｳ)　特殊形押輪を設置する異形管（継ぎ輪）の施工歩掛は、Ｋ形標準継手の施工歩掛の 60%増とする。

(ｴ)　本歩掛の諸雑費には、滑剤、接合器具損料を含む。

ＧＸ形継手（直管(ライナ使用部含む)）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.050	0.050	0.050	0.060	0.090	0.100	
普通作業員		人	0.050	0.050	0.050	0.060	0.090	0.100	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＧＸ形継手（異形管(GX 形ソフトシール仕切弁含む)）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.050	0.050	0.060	0.070	0.090	0.120	
普通作業員		人	0.050	0.050	0.060	0.070	0.090	0.120	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

※上表は、押輪使用による異形管の継手接合に適用する。

ＧＸ形継手（G-Link 使用部の異形管）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	摘要
特殊作業員		人	0.080	0.080	0.096	0.112	0.144	
普通作業員		人	0.080	0.080	0.096	0.112	0.144	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

※上表は、G-Link 使用による異形管の継手接合に適用する。

ＧＸ形継手（異形管（継ぎ輪(特殊形押輪)）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.160	
普通作業員		人	0.160	
諸雑費	労務費	%	1.000	率あり

ＧＸ形継手（直管（特殊割押輪・既設管設置））施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.015	0.015	0.018	0.021	0.027	0.030	
普通作業員		人	0.015	0.015	0.018	0.021	0.027	0.030	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

(3) ＮＳ形継手　･･･P1070218

1)　ＮＳ形継手（小口径）

ＮＳ形継手（小口径）の施工歩掛は次表を標準とする。

(ｱ)　特殊割押輪を設置する直管の施工歩掛は、K形標準継手の施工歩掛の 30%増とする。

(ｲ)　異形管（継ぎ輪以外）の施工歩掛は、NS 形標準継手の施工歩掛の 30%増とする。

(ｳ)　異形管（継ぎ輪）の施工歩掛は、K形標準継手の施工歩掛の 30%増とする。

(ｴ)　特殊割押輪を設置する異形管（継ぎ輪）の施工歩掛は、K形標準継手の施工歩掛の 60%増とする。

(ｵ)　既設の直管に特殊割押輪を設置する施工歩掛は、K形標準継手の施工歩掛の 30%とする。

(ｶ)　既設の継ぎ輪に特殊割押輪を設置する施工歩掛は、K形標準継手の施工歩掛の 60%とする。

(ｷ)　本歩掛の諸雑費には、滑剤、接合器具損料を含む。

ＮＳ形継手（直管（ライナ使用部含む））施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.050	0.050	0.050	0.060	0.070	
普通作業員		人	0.050	0.050	0.050	0.060	0.070	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手（直管（特殊割押輪））施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.065	0.065	0.078	0.091	0.104	
普通作業員		人	0.065	0.065	0.078	0.091	0.104	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手（異形管（継ぎ輪以外））施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.065	0.065	0.065	0.078	0.091	
普通作業員		人	0.065	0.065	0.065	0.078	0.091	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手（異形管（継ぎ輪））施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.065	0.065	0.078	0.091	0.104	
普通作業員		人	0.065	0.065	0.078	0.091	0.104	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手（異形管（継ぎ輪)、特殊割押輪）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.080	0.080	0.096	0.112	0.128	
普通作業員		人	0.080	0.080	0.096	0.112	0.128	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手（直管（特殊割押輪・既設管設置)）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.015	0.015	0.018	0.021	0.024	
普通作業員		人	0.015	0.015	0.018	0.021	0.024	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手（異形管（継ぎ輪(特殊割押輪・既設管設置)）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.030	0.030	0.036	0.042	0.048	
普通作業員		人	0.030	0.030	0.036	0.042	0.048	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

2)　ＮＳ形（中口径）

ＮＳ形（中口径）の施工歩掛は次表を標準とする。

(ｱ)　特殊割押輪を設置する直管の施工歩掛は、Ｋ形標準継手の施工歩掛の 30%増とする。

(ｲ)　異形管の施工歩掛は、Ｋ形標準継手の施工歩掛の 30%増とする。

(ｳ)　特殊割押輪を設置する異形管（継ぎ輪）の施工歩掛は、Ｋ形標準継手の施工歩掛の 60%増とする。

(ｴ)　既設の直管に特殊割押輪を設置する施工歩掛は、Ｋ形標準継手の施工歩掛の 30%とする。

(ｵ)　既設の継ぎ輪に特殊割押輪を設置する施工歩掛は、Ｋ形標準継手の施工歩掛の 60%とする。

(ｶ)　本歩掛の諸雑費には、滑剤、接合器具損料を含む。

ＮＳ形継手（直管（ライナ使用部含む)）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	300mm	350mm	400mm	450mm	摘要
特殊作業員		人	0.100	0.100	0.110	0.120	
普通作業員		人	0.100	0.100	0.110	0.120	
諸雑費	労務費	%	4.000	4.000	4.000	4.000	率あり

ＮＳ形継手（直管、特殊割押輪）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	300mm	350mm	400mm	450mm	摘要
特殊作業員		人	0.117	0.117	0.130	0.143	
普通作業員		人	0.117	0.117	0.130	0.143	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手（異形管）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	300mm	350mm	400mm	450mm	摘要
特殊作業員		人	0.117	0.117	0.130	0.143	
普通作業員		人	0.117	0.117	0.130	0.143	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手（異形管（継ぎ輪）、特殊割押輪）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	300mm	350mm	400mm	450mm	摘要
特殊作業員		人	0.144	0.144	0.160	0.176	
普通作業員		人	0.144	0.144	0.160	0.176	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手（直管（特殊割押輪・既設管設置））施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	300mm	350mm	400mm	450mm	摘要
特殊作業員		人	0.027	0.027	0.030	0.033	
普通作業員		人	0.027	0.027	0.030	0.033	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手（異形管（継ぎ輪（特殊割押輪・既設管設置））施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	300mm	350mm	400mm	450mm	摘要
特殊作業員		人	0.054	0.054	0.060	0.066	
普通作業員		人	0.054	0.054	0.060	0.066	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

3)　ＮＳ形（大口径）

ＮＳ形（大口径）の施工歩掛は次表を標準とする。

(ｱ)　直管（ライナ無）、異形管の施工歩掛は、ライナを取付ける受口には適用できない。

(ｲ)　直管（ライナ有）の施工歩掛は、ライナを取付ける受口に適用するものとし、ライナ取付けに係る費用を含む。

(ｳ)　直管（ライナ有）の施工歩掛は、直管（ライナ無）の 20%増とする。

(ｴ)　特殊割押輪を設置する異形管（継ぎ輪）の施工歩掛は、ＮＳ形標準継手の施工歩掛とする。

(ｵ)　本歩掛の諸雑費には、滑剤、接合器具損料を含む。

ＮＳ形継手（直管（ライナ無）、異形管）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.130	0.150	0.180	0.230	0.260	0.310	
普通作業員		人	0.130	0.150	0.180	0.230	0.260	0.310	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手（直管（ライナ有））施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.156	0.180	0.216	0.276	0.312	0.372	
普通作業員		人	0.156	0.180	0.216	0.276	0.312	0.372	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手（異形管（継ぎ輪(特殊割押輪)）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.130	0.150	0.180	0.230	0.260	0.310	
普通作業員		人	0.130	0.150	0.180	0.230	0.260	0.310	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

(4) K形継手　･･･P1070203

K形継手の施工歩掛は次表を標準とする。

(ｱ)　特殊継手の施工歩掛は、標準継手の施工歩掛に以下の割増率を乗じたものとする。

割増率(%) ＝(押しボルト数／T頭ボルト数)×30%

口径 75～800mm　⇒ 15%増

口径 900～1,000mm ⇒ 30%増

(ｲ)　特殊継手（3DkN）の施工歩掛は、標準継手の施工歩掛に以下の割増率を乗じたものとする。

割増率(%) ＝(押しボルト数／T頭ボルト数)×30%

口径 75～1,000mm　⇒ 30%増

(ｳ)　特殊割押輪・既設管設置の施工歩掛は、標準継手の施工歩掛に以下の率を乗じたものとする。

率(%) ＝(押しボルト数／T頭ボルト数)×30%

口径 75～100mm　⇒ 15%　、口径 150～200mm　⇒ 20%

口径 250～300mm　⇒ 15%　、口径 400mm　⇒ 25%

口径 500～600mm　⇒ 26%

(ｴ)　本歩掛の諸雑費には、接合器具損料を含む。

K形継手（標準継手（押輪））施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	≦75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.050	0.050	0.060	0.070	0.080	0.090	0.100	
普通作業員		人	0.050	0.050	0.060	0.070	0.080	0.090	0.100	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm		摘要
特殊作業員		人	0.120	0.140	0.160	0.210	0.240	0.280		
普通作業員		人	0.120	0.140	0.160	0.210	0.240	0.280		
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000		率あり

K形継手（特殊継手(特殊形押輪)）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	≦75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.058	0.058	0.069	0.081	0.092	0.104	0.115	
普通作業員		人	0.058	0.058	0.069	0.081	0.092	0.104	0.115	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm		摘要
特殊作業員		人	0.138	0.161	0.184	0.242	0.312	0.364		
普通作業員		人	0.138	0.161	0.184	0.242	0.312	0.364		
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000		率あり

K形継手（特殊継手・特殊形押輪(3DkN)）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	≦75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.065	0.065	0.078	0.091	0.104	0.117	0.130	
普通作業員		人	0.065	0.065	0.078	0.091	0.104	0.117	0.130	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm		摘要
特殊作業員		人	0.156	0.182	0.208	0.273	0.312	0.364		
普通作業員		人	0.156	0.182	0.208	0.273	0.312	0.364		
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000		率あり

K形継手（特殊割押輪・既設管設置）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.008	0.008	0.012	0.014	0.012	0.014	0.025	
普通作業員		人	0.008	0.008	0.012	0.014	0.012	0.014	0.025	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	500mm	600mm						摘要
特殊作業員		人	0.031	0.036						
普通作業員		人	0.031	0.036						
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000						率あり

(5) フランジ形継手　･･･P1070208

フランジ形継手の施工歩掛は次表を標準とする。

(ｱ)　本歩掛には管の小運搬及び据付は含まない。

(ｲ)　本歩掛の諸雑費には、接合器具損料を含む。

フランジ継手（0.75MPa）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	≦65mm	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.050	0.060	0.060	0.070	0.080	0.110	0.120	
普通作業員		人	0.050	0.060	0.060	0.070	0.080	0.110	0.120	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.140	0.170	0.190	0.240	0.290	0.340	
普通作業員		人	0.140	0.170	0.190	0.240	0.290	0.340	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

フランジ継手（1.00MPa）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	≦65mm	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.050	0.110	0.110	0.120	0.130	0.170	0.180	
普通作業員		人	0.050	0.110	0.110	0.120	0.130	0.170	0.180	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.220	0.250	0.280	0.330	0.390	0.440	
普通作業員		人	0.220	0.250	0.280	0.330	0.390	0.440	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

(6) 鋼管小口径管継手 ･･･P1070209

1) 鋼管小口径管ねじ切り

鋼管小口径管ねじ切りの施工歩掛は次表を標準とする。

(ｱ) 本歩掛は、オースター使用によるねじ切りの歩掛である。

(ｲ) 本歩掛の諸雑費には、機械損料を含む。

鋼管小口径管ねじ切り施工歩掛（1 口当り）

名 称	規 格	単位	13mm	20mm	25mm	32mm	40mm	摘要
特殊作業員		人	0.030	0.030	0.040	0.040	0.040	
普通作業員		人	0.020	0.020	0.030	0.040	0.040	
諸雑費	労務費	%	3.000	3.000	3.000	3.000	3.000	率あり

名 称	規 格	単位	50mm	80mm	100mm	125mm	150mm	摘要
特殊作業員		人	0.050	0.050	0.060	0.070	0.080	
普通作業員		人	0.050	0.050	0.060	0.070	0.080	
諸雑費	労務費	%	3.000	3.000	3.000	3.000	3.000	率あり

2) 鋼管小口径管ねじ込み接合

鋼管小口径管ねじ込み接合の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、本歩掛の諸雑費には機械損料を含む。

鋼管小口径管ねじ込み接合施工歩掛（1 口当り）

名 称	規 格	単位	13mm	20mm	25mm	32mm	40mm	摘要
特殊作業員		人	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	
普通作業員		人	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	
諸雑費	労務費	%	3.000	3.000	3.000	3.000	3.000	率あり

名 称	規 格	単位	50mm	80mm	100mm	125mm	150mm	摘要
特殊作業員		人	0.010	0.015	0.015	0.015	0.025	
普通作業員		人	0.025	0.025	0.030	0.035	0.040	
諸雑費	労務費	%	3.000	3.000	3.000	3.000	3.000	率あり

(7) 硬質塩化ビニル管継手　･･･P1070210

硬質塩化ビニル管継手の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ)　本歩掛は､一般的な配管工事における標準的なビニル管継手の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

(ｳ)　本歩掛の諸雑費には、接着剤、接合器具損料を含む。

硬質塩化ビニル管継手施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	13mm	16mm	20mm	25mm	30mm	摘要
特殊作業員		人	0.005	0.005	0.010	0.010	0.015	
普通作業員		人	0.005	0.005	0.010	0.010	0.015	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名　称	規　格	単位	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	摘要
特殊作業員		人	0.015	0.020	0.020	0.030	0.035	
普通作業員		人	0.015	0.020	0.020	0.030	0.035	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

(8) ジョイント継手　･･･P1070211

ジョイント継手（抜出防止付き）の施工歩掛は次表を標準とする。

ジョイント継手（抜出防止付き）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	≦75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	300mm	摘要
特殊作業員		人	0.050	0.050	0.060	0.070	0.080	0.090	
普通作業員		人	0.050	0.050	0.060	0.070	0.080	0.090	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

(9) ポリエチレン管継手

1)　ポリエチレン管継手　････P1070212

ポリエチレン管継手の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ)　本歩掛の諸雑費には、接合器具損料を含む。

ポリエチレン管継手施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	摘要
特殊作業員		人	0.010	0.020	0.020	0.030	0.030	0.040	
普通作業員		人	0.010	0.020	0.020	0.030	0.030	0.040	
諸雑費		%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

2) ポリエチレン管継手（EF 接合(融着接合)） ····P1070213

ポリエチレン管継手（EF 接合(融着接合)）の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) EF 接合(融着接合)①の施工歩掛は、２口継手を標準とし、ソケットの接合のみに適用する。

(ｳ) EF 接合(融着接合)②の施工歩掛は､EF 接合(融着接合)①の施工歩掛の 70%とする。

(ｴ) 本歩掛の諸雑費には、機械器具損料及び消耗品を含む。

ポリエチレン管継手（EF 接合(融着接合)①）施工歩掛（1 箇所(２口)当り）

名　称	規　格	単位	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	摘要
特殊作業員		人	0.080	0.080	0.120	0.140	0.140	
普通作業員		人	0.080	0.080	0.120	0.140	0.140	
諸雑費		%	14.000	14.000	14.000	14.000	14.000	率あり

ポリエチレン管継手（EF 接合(融着接合)②）施工歩掛（１口当り）

名　称	規　格	単位	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	摘要
特殊作業員		人	0.056	0.056	0.084	0.098	0.098	
普通作業員		人	0.056	0.056	0.084	0.098	0.098	
諸雑費		%	14.000	14.000	14.000	14.000	14.000	率あり

3) ポリエチレン管継手（メカニカル継手） ····P1070215

ポリエチレン管継手（メカニカル継手）の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛は、水道配水用ポリエチレン管に使用するメカニカル継手工に適用する。

(ｲ) 据付工は、ポリエチレン管（融着接合（ＥＦ接合）据付工を適用する。

(ｳ) 本歩掛の諸雑費には、接合器具損料を含む。

ポリエチレン管継手（メカニカル継手）施工歩掛（１口当り）

名　称	規　格	単位	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	摘要
特殊作業員		人	0.040	0.040	0.040	0.050	0.060	
普通作業員		人	0.040	0.040	0.040	0.050	0.060	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

３　管切断工

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 鋳鉄管切断　･･･P1070312

鋳鉄管切断の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛には、20ｍ程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ)　本歩掛は、新設管の切断、新旧管連絡か所やＴ字管取除きか所等における既設管の切断か所など、供用を開始または供用中の管路を切断する場合に適用する。（管撤去、モルタル充填工等の供用を停止（放棄等）した管路を切断する場合には適用できない。）

(ｳ)　本歩掛の諸雑費には、燃料、カッター刃の損耗費及び塗装の補修費を含む。

(ｴ)　Ｔ形継手管の管切断時（パイプ切削切断機使用）には、切管部の面取り加工を含むものとする。

鋳鉄管切断（エンジンカッター）施工歩掛（1口当り）

名　称	規　格	単位	50mm 以下	75mm	100mm	150mm	200mm	摘要
特殊作業員		人	0.030	0.030	0.030	0.040	0.050	
普通作業員		人	0.060	0.060	0.060	0.080	0.090	
機械損料		日	0.030	0.030	0.030	0.040	0.050	
諸雑費	労務費	%	30.000	30.000	30.000	30.000	30.000	率あり

名　称	規　格	単位	300mm	400mm	500mm			摘要
特殊作業員		人	0.060	0.070	0.090			
普通作業員		人	0.180	0.220	0.340			
機械損料		日	0.060	0.070	0.090			
諸雑費	労務費	%	30.000	30.000	30.000			率あり

鋳鉄管切断（パイプ切削切断機使用）施工歩掛（1口当り）

名　称	規　格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.340	0.390	0.430	0.480	0.520	0.570	
普通作業員		人	1.260	1.520	1.790	2.060	2.330	2.600	
機械損料		日	0.290	0.340	0.400	0.450	0.500	0.550	
諸雑費	労務費	%	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	率あり

(2) 鋼管小口径管切断　･･･P1070209

鋼管小口径管切断の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛は､一般的な配管工事における標準的な鋼管切断の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

(ｲ)　本歩掛の諸雑費には、燃料、カッター刃の損耗費を含む。

鋼管小口径管切断施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	13mm	20mm	25mm	32mm	40mm	摘要
特殊作業員		人	0.010	0.010	0.010	0.010	0.020	
普通作業員		人	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	
諸雑費	労務費	%	3.000	3.000	3.000	3.000	3.000	率あり

名　称	規　格	単位	50mm	80mm	100mm	125mm	150mm	摘要
特殊作業員		人	0.020	0.030	0.030	0.040	0.040	
普通作業員		人	0.010	0.020	0.020	0.030	0.030	
諸雑費	労務費	%	3.000	3.000	3.000	3.000	3.000	率あり

(3) 硬質塩化ビニル管切断　･･･P1070303

硬質塩化ビニル管切断の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、本歩掛の諸雑費には、工具損料、損耗費等を含む。

硬質塩化ビニル管切断施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	摘要
特殊作業員		人	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	
普通作業員		人	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm		摘要
特殊作業員		人	0.020	0.020	0.020	0.020		
普通作業員		人	0.020	0.020	0.020	0.020		
諸雑費	労務費	%	5.000	5.000	5.000	5.000		率あり

(4) ポリエチレン管切断　･･･P1070304

ポリエチレン管切断の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、本歩掛の諸雑費には、工具損料、損耗費等を含む。

ポリエチレン管切断施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	摘要
特殊作業員		人	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	
普通作業員		人	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm		摘要
特殊作業員		人	0.010	0.020	0.020	0.020		
普通作業員		人	0.010	0.020	0.020	0.020		
諸雑費	労務費	%	7.000	7.000	7.000	7.000		率あり

(5) 溝切り加工

1) ＧＸ形 ･･･P1070311

ＧＸ形における溝切り加工の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛には、20ｍ程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) 管切断・ＧＸ形溝切り２工程（専用工具使用）は、タッピンねじ式専用工具（溝切り機及び切断機等）を使用して溝切りと管切断を行う場合に適用する。

(ｳ) ＧＸ形溝切りのみ（専用工具使用）は、タッピンねじ式専用工具（溝切り機等）を使用して溝切りのみを行う場合に適用する。

(ｴ) 溝切り及び切断刃の損料費は、(溝切り刃価格×1/2＋切断刃価格）に表の刃損耗率を乗じて算出する。

(ｵ) 本歩掛の諸雑費には、燃料、工具損耗費及び塗装の補修費を含む。

(ｶ) 溝切りのみの施工歩掛は、管切断・ＧＸ形溝切り２工程の施工歩掛に70%とする。

管切断・ＧＸ形溝切り２工程（専用工具使用）施工歩掛（1口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.160	0.170	0.180	0.200	0.250	0.280	
普通作業員		人	0.330	0.340	0.360	0.380	0.460	0.520	
機械損料		日	0.190	0.190	0.210	0.220	0.260	0.310	
溝切・切断刃損耗率		%	1.400	1.700	2.500	3.200	4.800	8.900	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＧＸ形溝切りのみ（専用工具使用）施工歩掛（1口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.112	0.119	0.126	0.140	0.175	0.196	
普通作業員		人	0.231	0.238	0.252	0.266	0.322	0.364	
機械損料		日	0.133	0.133	0.147	0.154	0.182	0.217	
溝切刃損耗率		%	1.400	1.700	2.500	3.200	4.800	8.900	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

2) ＮＳ形（小・中口径） ･･･P1070308

ＮＳ形（小・中口径）における溝切り加工の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛には、20ｍ程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) 管切断・ＮＳ形溝切り２工程（専用工具使用）の施工歩掛は、タッピンねじ式専用工具（溝切り機及び切断機等）を使用して溝切りと管切断を行う場合に適用する。

(ｳ) ＮＳ形溝切りのみ（専用工具使用）の施工歩掛は、タッピンねじ式専用工具（溝切り機等）を使用して溝切りを行う場合に適用する。

(ｴ) 溝切り・切断刃の損耗費は、(溝切り刃価格×1/2＋切断刃価格）に表の刃損耗率を乗じて算出する。

(ｵ) 本歩掛の諸雑費には、燃料、工具損耗費及び塗装の補修費を含む。

(ｶ) 溝切りのみの施工歩掛は、管切断・NS形溝切り２工程の施工歩掛に70%とする。

管切断・ＮＳ形溝切り２工程（専用工具使用）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.160	0.170	0.180	0.200	0.250	0.280	
普通作業員		人	0.330	0.340	0.360	0.380	0.460	0.520	
機械損料		日	0.190	0.190	0.210	0.220	0.260	0.310	
溝切･切断刃損耗率		%	1.400	1.700	2.500	3.200	4.800	8.900	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形溝切りのみ（専用工具使用）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.112	0.119	0.126	0.140	0.175	0.196	
普通作業員		人	0.231	0.238	0.252	0.266	0.322	0.364	
機械損料		日	0.133	0.133	0.147	0.154	0.182	0.217	
溝切刃損耗率		%	1.400	1.700	2.500	3.200	4.800	8.900	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

3)　ＮＳ形　大口径　･･･P1070306

ＮＳ形（大口径）における溝切り加工の施工歩掛は次表を標準とする。
ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ)　管切断・ＮＳ形溝切り２工程（パイプ切削切断機使用）の施工歩掛は、切断・溝切りを２工程で連続して行う場合の歩掛りである。

(ｳ)　NS 形溝切りのみ（パイプ切削切断機使用）施工歩掛（１口当り）の施工歩掛は、溝切加工のみを行う場合の歩掛りである。

(ｴ)　本歩掛の諸雑費には、燃料、カッター刃の損耗費及び塗装の補修費を含む。

(ｵ)　溝切りのみの施工歩掛は、鋳鉄管切断工（パイプ切削切断機使用）の施工歩掛を適用する。

管切断・ＮＳ形溝切り２工程（パイプ切削切断機使用）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1000mm	摘要
特殊作業員		人	0.810	0.870	0.930	0.980	1.040	1.100	
普通作業員		人	1.560	1.970	2.460	2.950	3.440	3.930	
機械損料		日	0.520	0.660	0.720	0.790	0.850	0.910	
諸雑費	労務費	%	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	率あり

ＮＳ形溝切りのみ（パイプ切削切断機使用）施工歩掛（1 口当り）

名　称	規　格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1000mm	摘要
特殊作業員		人	0.340	0.390	0.430	0.480	0.520	0.570	
普通作業員		人	1.260	1.520	1.790	2.060	2.330	2.600	
機械損料		日	0.290	0.340	0.400	0.450	0.500	0.550	
諸雑費	労務費	%	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	率あり

(6) 挿口リング取付

1) ＧＸ形 ･･･P1070314

ＧＸ形挿口リング取付の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛は、現地で挿口加工を行い、切断・溝切り加工後に挿口リング（タッピンねじ式）を取り付ける施工歩掛である。

(ｲ) 本歩掛の諸雑費には工具損料、ドリル刃損耗費を含む。

ＧＸ形挿口リング取付施工歩掛（1口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.050	
普通作業員		人	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.050	
諸雑費	労務費	%	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	率あり

2) ＮＳ形（小・中口径） ･･･P1070315

ＮＳ形（小・中口径）挿口リング取付の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛は、現地で挿口加工を行い、切断・溝切り加工後に挿口リング（タッピンねじ式）を取り付ける歩掛である。

(ｲ) 本歩掛の諸雑費には工具損料、ドリル刃損耗費を含む。

ＮＳ形（小・中口径）挿口リング取付施工歩掛（1口当り）

名　称	規　格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.050	
普通作業員		人	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.050	
諸雑費	労務費	%	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	率あり

3) ＮＳ形（大口径） ･･･P1070317

ＮＳ形（大口径）挿口リング取付の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛は、現地で挿口加工を行い、切断・溝切り加工後に挿口リング（リベット式）を取り付ける歩掛である。

(ｲ) 本歩掛の諸雑費には工具損料、ドリル刃損耗費を含む。

ＮＳ形（大口径）挿口リング取付施工歩掛（1口当り）

名　称	規　格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.080	0.080	0.090	0.090	0.100	0.100	
普通作業員		人	0.080	0.080	0.090	0.090	0.100	0.200	
諸雑費	労務費	%	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	率あり

４　弁類設置

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 仕切弁設置

1)　仕切弁設置（機械力）　･･･P1070401

仕切弁設置（機械力）の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛には、20ｍ程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ)　本歩掛には、仕切弁の継手接合は含まない。したがって、仕切弁設置を計上する場合は、仕切弁の両サイドの継手接合手間を２項「継手工」により計上すること。

(ｳ)　本歩掛は、一般的な配管工事における標準的な仕切弁設置の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

(ｴ)　口径 350㎜以下の吊込み機械は現場の状況によりトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型）4.9ｔ吊またはバックホウ（クレーン仕様）クローラ型クレーン機能付 2.9ｔ吊を使用することができる。

なお、バックホウ（クレーン仕様）は、「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械であること。

(ｵ)　16ｔ吊以上のクレーン機種は、ラフテレーンクレーン油圧伸縮ジブ型とする。

仕切弁設置（機械力）施工歩掛（1 箇所当り）

名称	規格	単位	≦100㎜	150㎜	200㎜	250㎜	300㎜	350㎜	摘要
特殊作業員		人	0.030	0.040	0.050	0.060	0.110	0.180	
普通作業員		人	0.050	0.060	0.080	0.100	0.170	0.430	
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t 積 2.9t 吊	h	0.400	0.490	0.570	0.730	0.910	1.100	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	400㎜	450㎜	500㎜	600㎜	700㎜	800㎜	摘要
特殊作業員		人	0.410	0.620	0.820	1.130	1.440	1.650	
普通作業員		人	1.130	1.960	2.470	3.610	4.220	5.250	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型4.9ｔ吊	日	0.290	0.300	0.320	0.340	0.360	—	
ﾗﾌﾃﾚｰｸﾚｰﾝ	16t 吊	日	—	—	—	—	—	0.400	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

2)　仕切弁設置（人力）　･･･P1070402

仕切弁設置（人力）の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛には、20ｍ程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ)　本歩掛には、仕切弁の継手接合は含まない。したがって、仕切弁設置を計上する場合は、仕切弁の両サイドの継手接合手間を２項「継手工」により計上すること。

仕切弁設置（人力）施工歩掛（1 箇所当り）

名称	規格	単位	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.030	0.050	0.070	0.100	0.170	0.240	
普通作業員		人	0.150	0.190	0.230	0.370	0.450	0.610	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	300mm	350mm					摘要
特殊作業員		人	0.370	0.530					
普通作業員		人	0.900	1.270					
諸雑費		式	1	1					端数処理

(2) 空気弁設置

1) 空気弁設置（機械力） ･･･P1070501

空気弁設置（機械力）の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) 本歩掛は､空気弁の据付及びネジ込み接合１か所またはフランジ接合１か所を含む。

(ｳ) 本歩掛の諸雑費には、接合器具損料を含む。

空気弁設置（機械力）施工歩掛（1 基当り）

名称	規格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	摘要
特殊作業員		人	0.090	0.090	0.120	0.140	
普通作業員		人	0.110	0.110	0.150	0.180	
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t 積、2.9t 吊	h	0.400	0.400	0.570	0.730	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

1) 空気弁設置（人力） ･･･P1070501

空気弁設置（人力）の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) 本歩掛は､空気弁の据付及びネジ込み接合１か所またはフランジ接合１か所を含む。

(ｳ) 本歩掛の諸雑費には、接合器具損料を含む。

空気弁設置（人力）施工歩掛（1 基当り）

名称	規格	単位	≦25mm	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	摘要
特殊作業員		人	0.050	0.100	0.150	0.210	0.310	0.410	
普通作業員		人	0.100	0.210	0.310	0.410	0.620	0.820	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

(3) 消火栓設置

1) 消火栓設置（機械力） ･･･P1070601

消火栓設置（機械力）の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) 本歩掛には、補修弁、フランジ短管等の据付を含み、これらの継手接合については フランジ継手を 1 か所または 2 か所を含む。

(ｳ) 撤去歩掛は、本歩掛の数量の 60%とする。

(ｴ) 本歩掛の諸雑費には、接合器具損料を含む。

消火栓設置（機械力）施工歩掛（1 箇所当り）

名 称	規 格	単位	ﾌﾗﾝｼﾞ接合(7.5K、10K) 1 か所含む		ﾌﾗﾝｼﾞ接合 (7.5K) 2 か所含む		ﾌﾗﾝｼﾞ接合 (10K) 2 か所含む		摘要
			単口	双口・空気弁付	単口	双口・空気弁付	単口	双口・空気弁付	
特殊作業員		人	0.080	0.090	0.140	0.150	0.190	0.200	
普通作業員		人	0.100	0.110	0.160	0.170	0.210	0.220	
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t 積、2.9t 吊	h	0.310	0.310	0.310	0.310	0.310	0.310	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

2) 消火栓設置（人力） ･･･P1070601

消火栓設置（人力）の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) 本歩掛には、補修弁、フランジ短管等の据付を含み、これらの継手接合については フランジ継手を 1 か所または 2 か所を含む。

(ｳ) 撤去歩掛は、本歩掛の数量の 60%とする。

(ｴ) 本歩掛の諸雑費には、接合器具損料を含む。

消火栓設置（人力）施工歩掛（1 箇所当り）

名 称	規 格	単位	ﾌﾗﾝｼﾞ接合(7.5K、10K) 1 か所含む		ﾌﾗﾝｼﾞ接合 (7.5K) 2 か所含む		ﾌﾗﾝｼﾞ接合 (10K) 2 か所含む		摘要
			単口	双口・空気弁付	単口	双口・空気弁付	単口	双口・空気弁付	
特殊作業員		人	0.120	0.190	0.180	0.250	0.230	0.300	
普通作業員		人	0.260	0.360	0.320	0.420	0.370	0.470	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

(4) 伸縮可とう管設置　･･･P1070650

伸縮可とう管設置の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　口径 350㎜ 以下の吊込み機械は現場の状況によりトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型）4.9ｔ吊またはバックホウ（クレーン仕様）クローラ型クレーン機能付 2.9ｔ吊を使用することができる。

なお、バックホウ（クレーン仕様）は、「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械であること。

(ｲ)　16ｔ吊以上のクレーン機種は、ラフテレーンクレーン油圧伸縮ジブ型とする。

(ｳ)　Ｕは受口、Ｓは挿し口を示す。

(ｴ)　本歩掛の諸雑費には、付属品取外し工具損料を含む。

伸縮可とう管設置（U-U、U-S、S-S）施工歩掛（1 基当り）

名称	規格	単位	100㎜ 以下	150㎜	200㎜	300㎜	400㎜	500㎜	摘要
特殊作業員		人	0.150	0.190	0.220	0.300	0.360	0.460	
普通作業員		人	0.170	0.210	0.250	0.340	0.420	0.550	
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t 積、2.9t 吊	h	0.460	0.530	0.610	0.830	—	—	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ （賃料）	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ 型 4.9t 吊	日	—	—	—	—	0.180	0.190	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	600㎜	700㎜	800㎜	900㎜	1,000㎜		摘要
特殊作業員		人	0.590	0.730	0.980	1.210	1.440		
普通作業員		人	0.620	0.760	1.010	1.240	1.470		
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ （賃料）	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ 型 4.9t 吊	日	0.210	0.230	0.260	0.300	—		
ﾗﾌﾃﾚｰｸﾚｰﾝ （賃料）	16t 吊	日	—	—	—	—	0.330		
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000		率あり

５　ポリスリーブ被覆工

本項は「広島市水道局独自基準」とする。

(1) ポリスリーブ被覆工　･･･P1070801

ポリスリーブ被覆工の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛は、ポリスリーブ被覆を行い、粘着テープの胴巻き作業を行う場合に適用する。

なお、口径75㎜以上は、粘着テープによる天端明示を含む。

(ｲ)　非取出管又は仮設管のポリスリーブ被覆工及び管明示工については、６項-(1)「管明示工」を参照すること。

ポリスリーブ被覆工施工歩掛（100ｍ当り）

名称	規格	単位	50㎜	75㎜	100㎜	150㎜	200㎜	250㎜	摘要
特殊作業員		人	0.250	0.250	0.300	0.350	0.430	0.510	
普通作業員		人	0.250	0.400	0.460	0.500	0.590	0.670	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	300㎜	400㎜	500㎜	600㎜	700㎜	800㎜	摘要
特殊作業員		人	0.590	0.750	0.910	1.000	1.170	1.330	
普通作業員		人	0.740	0.920	1.170	1.270	1.540	1.720	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	900㎜	1,000㎜					摘要
特殊作業員		人	1.500	1.670					
普通作業員		人	1.900	2.080					
諸雑費		式	1	1					端数処理

６　管明示工

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 管明示工　･･･P1070802

管明示工の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛は、非取出管用又は仮設管用の粘着テープ貼付けに適用する。

なお、ポリスリーブ被覆を行い、通常の粘着テープに加えて非取出管用又は仮設管用の粘着テープ貼付けを行う場合は、本歩掛と５項「ポリスリーブ被覆工」を計上する。

(ｲ)　配水用ポリエチレン管（HPPE）50㎜ については、通常の粘着テープによる管明示は行わないが、仮設管として使用する場合は、本歩掛を適用する。

管明示工施工歩掛（100ｍ当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	0.040	
諸雑費		式	1	端数処理

7　水圧テスト工

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。ただし、口径 900mm 以上については、継手部の内面水圧テストによるものとする。

(1) 水圧テスト工（口径 800mm 以下）　・

1) 水圧テスト工　･･･P1070810

水圧テスト工（口径 800mm 以下）の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛は口径 800mm までの適用とする。

(ｲ)　本歩掛の器具損料等は、排気設備、蓋板、各種コック、ホース（給水車)、テストポンプ据付撤去、運転費、その他雑品工具類を含む。

(ｳ)　給水車で注水する場合は、タンク容量 6m3 を標準とする。

(ｴ)　ﾚﾝﾀﾙ（ﾘｰｽ）による場合に限り、給水車の賃料は別途計上すること。

水圧テスト工（口径 800mm 以下）施工歩掛（1 式当り）

名　称	規　格	単位	摘要
水圧テスト工（下位代価）		日	

水圧テスト工施工歩掛（下位代価）（1 日当り）　…P1070811

名　称	規　格	単位	給水車で注水	既設管と連絡	摘要
特殊作業員		人	2.000	3.000	
普通作業員		人	3.000	3.000	
一般運転手		人	1.000		
器具損料等	労務費	%	30.000	20.000	率あり
計					

2) 1 日当り試験距離

1 日当り試験距離は次表を標準とする。

口径	150mm 以下	200～300mm	400～600mm	700～800mm
既設管と連絡せずに給水車で注水する場合	1,000m ～1,500m	500m ～1,000m	300m ～500m	300m以下
既設管と連絡して給水車が不要の場合	500m～2,000m			

なお、試験距離は、仕切弁の数及び管路の起伏等を考慮して決定すること。

(2) 水圧テスト工（口径 900mm 以上）　･･･P 単価コードなし

水圧テスト工（口径 900mm 以上）の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛の適用範囲は、継手形式がＫ形、ＫＦ形、Ｕ形、ＵＦ形、Ｓ形及びＮＳ形の場合とする。

(ｲ)　試験機は実勢単価とする。

(ｳ)　鋼管の場合のＸ線検査及び超音波探傷検査等は別途積算すること。

(ｴ)　本歩掛の諸雑費には、試験器取付け器具損料、傷つけ防止材を含む。

水圧テスト工（口径 900mm 以上）施工歩掛（1 口当り）

口径 (mm)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	試験費損料率	諸雑費 (%)
900	0.130	0.540	1.31×10^{-3}	労務費の 5%
1,000	0.140	0.590	1.41×10^{-3}	労務費の 5%
1,100	0.140	0.630	1.51×10^{-3}	労務費の 5%
1,200	0.150	0.680	1.60×10^{-3}	労務費の 5%
1,350	0.160	0.770	1.66×10^{-3}	労務費の 5%
1,500	0.180	0.810	1.73×10^{-3}	労務費の 5%
1,600	0.190	0.860	1.80×10^{-3}	労務費の 5%
1,650	0.200	0.900	1.89×10^{-3}	労務費の 5%

8　給水管工

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 止水栓据付　･･･P1071001

止水栓据付の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ)　本歩掛は、何れの場合も止水栓の管接合を含む。

(ｲ)　止水栓据付のみの施工歩掛は以下の計算式により算出したものとする。

特殊作業員＝(接合・篏取付含む施工歩掛)－(接合・篏取付含む PP 用施工歩掛)×15%

普通作業員＝(接合・篏取付含む施工歩掛)－(接合・篏取付含む PP 用施工歩掛)×65%

(ｳ)　本歩掛の諸雑費には、接合器具損料を含む。

止水栓設置（VP 用）施工歩掛（1 箇所当り）

名称	単位	25mm		40mm		50mm		適用
		接合・篏取付含む	止水栓据付のみ	接合・篏取付含む	止水栓据付のみ	接合・篏取付含む	止水栓据付のみ	
特殊作業員	人	0.090	0.081	0.120	0.108	0.130	0.117	
普通作業員	人	0.050	0.024	0.070	0.038	0.080	0.048	
諸雑費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

止水栓設置（PP 用）施工歩掛（1 箇所当り）

名称	単位	25mm		40mm		50mm		適用
		接合・筐取付含む	止水栓据付のみ	接合・筐取付含む	止水栓据付のみ	接合・筐取付含む	止水栓据付のみ	
特殊作業員	人	0.060	0.051	0.080	0.068	0.090	0.077	
普通作業員	人	0.040	0.014	0.050	0.018	0.050	0.018	
諸雑費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

(2) 給水管取付替え

1) 25mm ａタイプ ･･･P1071006

25mm a タイプの施工歩掛は次表を標準とする。

25mm ａタイプ施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	25mm PP	m	10.000	
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	25mm HI	m	5.000	
止水栓用ｵﾈｼﾞ付ｴﾙﾎﾞ	25mm PP（両回転型）	個	10.000	
ｴﾙﾎﾞ	25mm PP	個	10.000	
ｴﾙﾎﾞ	25mm HI	個	20.000	
ﾎﾞｰﾙ止水栓	φ25　ﾊﾝﾄﾞﾙ付	個	10.000	
止水栓ﾎﾞｯｸｽ	乙	個	10.000	
赤ﾚﾝｶﾞ		枚	20.000	
ﾒﾀﾙﾅｯﾄ付ﾊﾞﾙﾌﾞｿｹｯﾄ	25mm HI	個	10.000	
管据付	PP 25mm	m	10.000	
管据付	HIVP 25mm	m	5.000	
管継手	PP 25mm	箇所	30.000	
管継手	HIVP 25mm	箇所	60.000	
止水栓据付	PP 25mm	箇所	10.000	
管切断	HIVP 25mm	箇所	40.000	
管切断	PP 25mm	箇所	20.000	
ｷｬｯﾌﾟ	25mm HI	個	10.000	

2)　25mm　ｂタイプ　･･･P1071006

25mmｂタイプの施工歩掛は次表を標準とする。

25mm　ｂタイプ施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	25mm PP	m	5.000	
ｴﾙﾎﾞ	25mm PP	個	20.000	
ｵﾈｼﾞ付ｿｹｯﾄ	25mm PP（回転型）	個	20.000	
ﾎﾞｰﾙ止水栓	φ25 継ぎ足しｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ、筒付	個	10.000	
止水栓ﾎﾞｯｸｽ	甲	個	10.000	
赤ﾚﾝｶﾞ		枚	20.000	
SKX 異種管ｿｹｯﾄ	φ25×25 PP×VP	個	10.000	
管据付	PP 25mm	m	5.000	
管継手	PP 25mm	箇所	60.000	
管継手	ｼﾞｮｲﾝﾄ(抜出防止付) 75mm 以下	箇所	20.000	
管継手	HIVP 25mm	箇所	10.000	
止水栓据付	PP 25mm	箇所	10.000	
管切断	HIVP 25mm	箇所	20.000	
管切断	PP 25mm	箇所	40.000	
ｷｬｯﾌﾟ	25mm HI	個	10.000	

3)　40mm　ａタイプ　･･･P1071007

40mmａタイプの施工歩掛は次表を標準とする。

40mm　ａタイプ施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	数量		摘要
			タイプ１	タイプ２	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	40mm PP	m	10.000	10.000	
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	40mm HI	m	5.000	5.000	
止水栓用ｵﾈｼﾞ付ｴﾙﾎﾞ	40mm PP（両回転型）	個	10.000	10.000	
ｴﾙﾎﾞ	40mm PP	個	10.000	10.000	
ｴﾙﾎﾞ	40mm HI	個	20.000	20.000	
緩速装置付ﾎﾞｰﾙ止水栓	φ40 ﾊﾝﾄﾞﾙ付 ねじ込み形	個	10.000	10.000	
止水栓ﾎﾞｯｸｽ	樹脂製	個	10.000		
止水栓ﾎﾞｯｸｽ	緩速装置用 宅地内 Ⅱ型	個		10.000	
止水栓継ぎ足し筒	150VP 200mm(宅内)	個		10.000	
赤ﾚﾝｶﾞ		枚	20.000	40.000	
ﾒﾀﾙﾅｯﾄ付ﾊﾞﾙﾌﾞｿｹｯﾄ	40mm HI	個	10.000	10.000	
管据付	PP 40mm	m	10.000	10.000	
管据付	HIVP 40mm	m	5.000	5.000	
管継手	PP 40m	箇所	30.000	30.000	
管継手	HIVP 40mm	箇所	60.000	60.000	
止水栓据付	PP 40mm	箇所	10.000	10.000	
管切断	HIVP 40mm	箇所	40.000	40.000	
管切断	PP 40mm	箇所	20.000	20.000	
ｷｬｯﾌﾟ	40mm HI	個	10.000	10.000	

4) 40mm ｂタイプ ･･･P1071007

40mmｂタイプの施工歩掛は次表を標準とする。

40mm ｂタイプ施工歩掛（10箇所当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	40mm PP	m	5.000	
ｴﾙﾎﾞ	40mm PP	個	20.000	
ｵﾈｼﾞ付ｿｹｯﾄ	40mm PP（回転型）	個	20.000	
緩速装置付ﾎﾞｰﾙ止水栓	φ40　継ぎ足しｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ、筒付	個	10.000	
止水栓ﾎﾞｯｸｽ	緩速装置用 公道用 Ⅰ型	個	10.000	
赤ﾚﾝｶﾞ		枚	20.000	
SKX 異種管ｿｹｯﾄ	φ40×40 PP×VP	個	10.000	
管据付	PP 40mm	m	5.000	
管継手	PP 40mm	箇所	60.000	
管継手	ｼﾞｮｲﾝﾄ(抜出防止付) 75mm以下	箇所	20.000	
管継手	HIVP 40mm	箇所	10.000	
止水栓据付	PP 40mm	箇所	10.000	
管切断	HIVP 40mm	箇所	20.000	
管切断	PP 40mm	箇所	40.000	
ｷｬｯﾌﾟ	40mm HI	個	10.000	

5) 50mm ａタイプ ･･･P1071010

50mmａタイプの施工歩掛は次表を標準とする。

50mm ａタイプ（既設管HI）施工歩掛（10箇所当り）

名　称	規格	単位	数量		摘要
			タイプ１	タイプ２	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	50mm PP	m	10.000	10.000	
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	50mm HI	m	5.000	5.000	
止水栓用ｵﾈｼﾞ付ｴﾙﾎﾞ	50mm PP（両回転型）	個	10.000	10.000	
ｴﾙﾎﾞ	50mm PP	個	10.000	10.000	
ｴﾙﾎﾞ	50mm HI	個	20.000	20.000	
緩速装置付ﾎﾞｰﾙ止水栓	φ50 ﾊﾝﾄﾞﾙ付 ねじ込み形	個	10.000	10.000	
止水栓ﾎﾞｯｸｽ	樹脂製	個	10.000		
止水栓ﾎﾞｯｸｽ	緩速装置用 宅内 Ⅱ型	個		10.000	
止水栓継ぎ足し筒	150VP 200mm（宅内）	個		10.000	
赤ﾚﾝｶﾞ		枚	20.000	40.000	
ﾒﾀﾙﾅｯﾄ付ﾊﾞﾙﾌﾞｿｹｯﾄ	50mm HI	個	10.000	10.000	
管据付	PP 50mm	m	10.000	10.000	
管据付	HIVP 50mm	m	5.000	5.000	
管継手	PP 50m	箇所	30.000	30.000	
管継手	HIVP 50mm	箇所	60.000	60.000	
止水栓据付	PP 50mm	箇所	10.000	10.000	
管切断	HIVP 50mm	箇所	40.000	40.000	
管切断	PP 50mm	箇所	20.000	20.000	
ｷｬｯﾌﾟ	50mm HI	個	10.000	10.000	

50㎜ aタイプ（既設管CP）施工歩掛（10箇所当り）

名　称	規格	単位	数量		摘要
			タイプ１	タイプ２	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	50㎜ PP	m	10.000	10.000	
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	50㎜ HI	m	5.000	5.000	
止水栓用ｵﾈｼﾞ付ｴﾙﾎﾞ	50㎜ PP（両回転型）	個	10.000	10.000	
ｴﾙﾎﾞ	50㎜ PP	個	10.000	10.000	
ｴﾙﾎﾞ	50㎜ HI	個	20.000	20.000	
緩速装置付ﾎﾞｰﾙ止水栓	φ50 ﾊﾝﾄﾞﾙ付 ねじ込み形	個	10.000	10.000	
止水栓ﾎﾞｯｸｽ	樹脂製	個	10.000		
止水栓ﾎﾞｯｸｽ	緩速装置用 宅地内 Ⅱ型	個		10.000	
止水栓継ぎ足し筒	150VP 200㎜（宅内）	個		10.000	
赤ﾚﾝｶﾞ		枚	20.000	40.000	
ﾒﾀﾙﾅｯﾄ付ﾊﾞﾙﾌﾞｿｹｯﾄ	50㎜ HI	個	10.000	10.000	
塩ﾋﾞ・鋼管×鋳鉄管用ｼﾞｮｲﾝﾄ(抜出防止付)	φ50 SUSﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄ	個	10.000	10.000	
管据付	PP 50㎜	m	10.000	10.000	
管据付	HIVP 50㎜	m	5.000	5.000	
管継手	PP 50m	箇所	30.000	30.000	
管継手	HIVP 50㎜	箇所	50.000	50.000	
管継手	ｼﾞｮｲﾝﾄ(抜出防止付) 75㎜以下	口	20.000	20.000	
止水栓据付	PP 50㎜	箇所	10.000	10.000	
管切断	HIVP 50㎜	箇所	30.000	30.000	
管切断	PP 50㎜	箇所	20.000	20.000	
管切断	CP 50㎜	箇所	20.000	20.000	

6) 50mm ｂタイプ ･･･P1071010

50mmｂタイプの施工歩掛は次表を標準とする。

50mm ｂタイプ（既設管 HI）施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	50mm PP	m	5.000	
ｴﾙﾎﾞ	50mm PP	個	20.000	
ｵﾈｼﾞ付ｿｹｯﾄ	50mm PP（回転型）	個	20.000	
緩速装置付ﾎﾞｰﾙ止水栓	φ50　継ぎ足しｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ、筒付	個	10.000	
止水栓ﾎﾞｯｸｽ	緩速装置用　公道用　Ｉ型	個	10.000	
赤ﾚﾝｶﾞ		枚	20.000	
SKX 異種管ｿｹｯﾄ	φ50×50 PP×VP	個	10.000	
管据付	PP 50mm	m	5.000	
管継手	PP 50mm	箇所	60.000	
管継手	ｼﾞｮｲﾝﾄ(抜出防止付) 75mm 以下	箇所	20.000	
管継手	HIVP 50mm	箇所	10.000	
止水栓据付	PP 50mm	箇所	10.000	
管切断	HIVP 50mm	箇所	20.000	
管切断	PP 50mm	箇所	40.000	
ｷｬｯﾌﾟ	50mm HI	個	10.000	

50mm ｂタイプ（既設管 CP）施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	50mm HI	m	5.000	
ｴﾙﾎﾞ	50mm HI	個	20.000	
ｵﾈｼﾞ付ｿｹｯﾄ	50mm PP（回転型）	個	10.000	
緩速装置付ﾎﾞｰﾙ止水栓	φ50　継ぎ足しｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ、筒付	個	10.000	
止水栓ﾎﾞｯｸｽ	緩速装置用 公道用　Ｉ型	個	10.000	
赤ﾚﾝｶﾞ		枚	20.000	
ﾒﾀﾙﾅｯﾄ付ﾊﾞﾙﾌﾞｿｹｯﾄ	HI 50mm	個	10.000	
塩ﾋﾞ・鋼管×鋳鉄管用ｼﾞｮｲﾝﾄ(抜出防止付)	φ50 SUS ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄ	個	10.000	
管据付	HIVP 50mm	m	5.000	
管継手	PP 50mm	箇所	10.000	
管継手	HIVP 50mm	箇所	50.000	
管継手	ｼﾞｮｲﾝﾄ(抜出防止付) 75mm 以下	口	20.000	
止水栓据付	PP 50mm	箇所	10.000	
管切断	HIVP 50mm	箇所	30.000	
管切断	PP 50mm	箇所	10.000	
管切断	CP 50mm	箇所	20.000	

7) 25mm PP、PPLONG タイプ ･･･P1071009

25mmPP、PPLONG タイプの施工歩掛は次表を標準とする。

25mm PP、PPLONG タイプ（ソケット PP 1 個）施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
ｿｹｯﾄ	25mm PP	個	10.000	
管継手	PP 25mm	箇所	30.000	
管切断	PP 25mm	箇所	30.000	
ﾊﾟｲﾌﾟｴﾝﾄﾞ	φ25 PP 用	個	10.000	

25mm PP、PPLONG タイプ（エルボ PP 2 個）施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
ｴﾙﾎﾞ	25mm PP	個	20.000	
管継手	PP 25mm	箇所	50.000	
管切断	PP 25mm	箇所	40.000	
ﾊﾟｲﾌﾟｴﾝﾄﾞ	φ25 PP 用	個	10.000	

8) 40mm PP、PPLONG タイプ ･･･P1071009

40mmPP、PPLONG タイプの施工歩掛は次表を標準とする。

40mm PP、PPLONG タイプ（ソケット PP 1 個）施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
ｿｹｯﾄ	40mm PP	個	10.000	
管継手	PP 40mm	箇所	30.000	
管切断	PP 40mm	箇所	30.000	
ﾊﾟｲﾌﾟｴﾝﾄﾞ	φ40 PP 用	個	10.000	

40mm PP、PPLONG タイプ（エルボ PP 2 個）施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
ｴﾙﾎﾞ	40mm PP	個	20.000	
管継手	PP 40mm	箇所	50.000	
管切断	PP 40mm	箇所	40.000	
ﾊﾟｲﾌﾟｴﾝﾄﾞ	φ40 PP 用	個	10.000	

9) 50mm PP、PPLONG タイプ ･･･P1071009

50mmPP、PPLONG タイプの施工歩掛は次表を標準とする。

50mm PP、PPLONG タイプ（ソケット PP 1 個）施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
ｿｹｯﾄ	50mm PP	個	10.000	
管継手	PP 50mm	箇所	30.000	
管切断	PP 50mm	箇所	30.000	
ﾊﾟｲﾌﾟｴﾝﾄﾞ	50mm PP 用	個	10.000	

50mm PP、PPLONG タイプ（エルボ PP 2 個）施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
ｴﾙﾎﾞ	50mm PP	個	20.000	
管継手	PP 50mm	箇所	50.000	
管切断	PP 50mm	箇所	40.000	
ﾊﾟｲﾌﾟｴﾝﾄﾞ	50mm PP 用	個	10.000	

(3) 可とう式サドル分水栓取付　･･･P1071011

可とう式サドル分水栓取付の施工歩掛は次表を標準とする。

可とう式サドル分水栓取付（材工共）施工歩掛（1 箇所当り）

名称	規格・寸法	単位	50×25	75×25	100×25	150×25	200×25	摘要
サドル分水栓	可とう式	個	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	
分水栓取付穿孔		箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	
コア取付工		箇所	―	1.000	1.000	1.000	1.000	

(4) サドル分水栓（可とう継手共）取付　･･･P1071015

サドル分水栓（可とう継手共）取付の歩掛は、次表を標準とする。

なお、本歩掛には明示シート設置手間を含む。

サドル分水栓（可とう継手共、PP 用、材工共）施工歩掛（1 箇所当り）

名称	規格・寸法	単位	75×40	100×40	150×40	200×40	摘要
サドル分水栓	可とう式	個	1.000	1.000	1.000	1.000	明示ｼｰﾄ共
可とう継手		個	1.000	1.000	1.000	1.000	PP 用
分水栓取付穿孔		箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	
PP 管継手	PP40	箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	
コア取付工		箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	

名称	規格・寸法	単位	75×50	100×50	150×50	200×50	摘要
サドル分水栓	可とう式	個	1.000	1.000	1.000	1.000	明示ｼｰﾄ共
可とう継手		個	1.000	1.000	1.000	1.000	PP 用
分水栓取付穿孔		箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	
PP 管継手	PP50	箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	
コア取付工		箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	

サドル分水栓（可とう継手共、VP 用、材工共）施工歩掛（1 箇所当り）

名称	規格・寸法	単位	75×40	100×40	150×40	200×40	摘要
サドル分水栓	可とう式	個	1.000	1.000	1.000	1.000	明示ｼｰﾄ共
可とう継手		個	1.000	1.000	1.000	1.000	VP 用
分水栓取付穿孔		箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	
ビニル管継手	HI40	箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	
コア取付工		箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	

名称	規格・寸法	単位	75×50	100×50	150×50	200×50	摘要
サドル分水栓	可とう式	個	1.000	1.000	1.000	1.000	明示ｼｰﾄ共
可とう継手		個	1.000	1.000	1.000	1.000	VP 用
分水栓取付穿孔		箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	
ビニル管継手	HI50	箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	
コア取付工		箇所	1.000	1.000	1.000	1.000	

(5) コア取付工　･･･P1071018

コア取付工の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ) 配水管が鋳鉄管の場合で、サドル分水栓建込み後のコア挿入及び取付に適用する。

(ｲ) 諸雑費には、工具損料及び損耗費等を含む。

コア取付工施工歩掛（1 箇所当り）

名称	規格・寸法	単位	25mm	40mm	50mm	摘要
特殊作業員		人	0.030	0.030	0.030	
普通作業員		人	0.030	0.030	0.030	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	率あり

(6) 分水栓取付穿孔　･･･P1071031

分水栓取付穿孔の施工歩掛は次表を標準とする。ただし､以下の点について注意すること。

(ｱ) 本歩掛には給水管接合工１か所を含む。

(ｲ) 鋳鉄管の諸雑費は、電動式穿孔機を使用する場合に適用し、燃料、機械器具損料及び損耗費等を含む。

(ｳ) ポリエチレン管及びビニル管の諸雑費には、工具損料及び損耗費等を含む。

分水栓取付穿孔（鋳鉄管用）施工歩掛（1 箇所当り）

名称	規格・寸法	単位	75×25	100×25	150×25	200×25	摘要
特殊作業員		人	0.090	0.090	0.090	0.100	
普通作業員		人	0.090	0.090	0.090	0.100	
諸雑費	労務費	%	12.000	12.000	12.000	12.000	率あり

名称	規格・寸法	単位	75×40	100×40	150×40	200×40	摘要
特殊作業員		人	0.110	0.110	0.110	0.120	
普通作業員		人	0.110	0.110	0.110	0.120	
諸雑費	労務費	%	13.000	13.000	13.000	13.000	率あり

名称	規格・寸法	単位	75×50	100×50	150×50	200×50	摘要
特殊作業員		人	0.120	0.120	0.120	0.130	
普通作業員		人	0.120	0.120	0.120	0.130	
諸雑費	労務費	%	13.000	13.000	13.000	13.000	率あり

分水栓取付穿孔（HPPE 用）施工歩掛（1 箇所当り）

名称	規格・寸法	単位	50×25	75×25	100×25	150×25	摘要
特殊作業員		人	0.060	0.070	0.070	0.080	
普通作業員		人	0.060	0.070	0.070	0.080	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

分水栓取付穿孔（VP 用）施工歩掛（1 箇所当り）

名称	規格･寸法	単位	50×25	75×25	100×25	150×25	200×25	摘要
特殊作業員		人	0.070	0.080	0.080	0.090	0.090	
普通作業員		人	0.070	0.080	0.080	0.090	0.090	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

9　弁室等の築造

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。
ただし、(6)機械据付については「下水道用設計標準歩掛表」に基づくものとする。

(1) 適用範囲

本項は仕切弁等の弁室部材の据付作業に適用する。

(2) 据付作業歩掛の適用区分

据付作業歩掛の適用区分は次表のとおりとする。
ただし、トラッククレーンの作業半径が 8m を超える場合については、別途考慮する。

据付作業歩掛の適用区分

据付作業の区分	人力据付	機械据付
弁室材の種類	重量 90 kg以下の鉄蓋、土留側、土留板等とする。	重量が 90 kgを超える斜壁、直壁、土留板、床版等とする。

(3) 機種選定

使用機械は、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 4.9ｔ吊）を標準とする。

(4) 鉄蓋設置工（人力）　･･･P1071104

1)　適用部材

適用部材は次表のとおりとする。
規格・寸法及び質量が次表と異なる場合、数値が近似する鉄蓋については本歩掛を適用できるものとするが、そうでない場合は別途考慮すること。

適用部材（鉄蓋）

種別	規格・寸法	適用部材	質量（kg/個）
円形	250mm	鉄蓋φ250	30kg 未満
	500mm	鉄蓋φ500	
	600mm	鉄蓋φ600	30kg 以上 60kg 未満
	900mm	鉄蓋φ900	60kg 以上 90kg 未満

2)　施工歩掛

人力据付の施工歩掛は次表を標準とする。
なお、本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

人力据付（鉄蓋）施工歩掛（10 個当り）

名称	規格	単位	φ250	φ500	φ600	φ900	摘要
普通作業員		人	0.600	1.000	1.100	1.600	
諸雑費		式	1	1	1	1	端数処理

(5) 土留側設置工（人力）　･･･P1071107

1) 適用部材

適用部材は次表のとおりとする。

適用部材（土留側、土留板）

適用部材　（寸法：mm）
φ250 〔調整リング、土留側(上部、中部、下部、上下部)、土留板〕
φ500 〔調整リング、土留側(中部、下部(100H、200H、300H))、土留板〕
φ500 〔土留側(上部、下部（500H）)〕
φ600 〔調整リング、土留側(中部(100H、200H)、下部(100H、200H))、土留板〕
φ600 〔土留側(上部、中部(300H)、下部(300H、500H))〕

2) 施工歩掛

人力据付の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

人力据付（土留側・板）施工歩掛（10個・枚当り）

名称	単位	φ250 ・調整リング ・土留側(上部、中部、下部、上下部)、 ・土留板	φ500 ・調整リング ・土留側(中部、下部(100H、200H、300H)) ・土留板 φ600 ・調整リング ・土留側(中部(100H、200H))、下部(100H、200H)) ・土留板	φ500 ・土留側(上部、下部(500H) φ600 ・土留側(上部、中部(300H)、下部(300H、500H)	摘要
普通作業員	人	0.100	0.200	0.300	
諸雑費	式	1	1	1	端数処理

(6) 土留側設置工（機械）　･･･P1071108

1) 適用部材

適用部材は次表のとおりとする。

適用部材（斜壁、直壁、土留板、床板）

適用部材　（寸法：mm）
斜壁(600A、600C、600D、900B、1200) 直壁(900A、900B、1200A、1200B、1500A、1500B)
土留板(1,250×1,250×100) 円形床板(φ1,900×100)

2) 施工歩掛

機械据付の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、諸雑費はモルタル工（配合１：２、敷厚１cm）等の費用を含む。

機械据付施工歩掛（1 個当り）

名称	規格	単位	斜壁(600A、600C、600D、900B、1200) 直壁(900A、900B、1200A、1200B、1500A、1500B)	土留板(1,250×1,250×100) 円形床板(φ1,900×100)	摘要
土木一般世話役		人	0.100	0.080	
特殊作業員		人	0.100	0.080	
普通作業員		人	0.200	0.160	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ賃料	油圧伸縮ジブ型4.9ｔ吊	日	0.100	0.080	
諸雑費	労務費	%	3.000	5.000	率あり

(7) ソフトシール仕切弁室築造工

1) 標準土被り ･･･P1071160

標準土被りにおけるソフトシール仕切弁室築造工の施工歩掛は次表を標準とする。

ソフトシール仕切弁室築造工施工歩掛（10 箇所当り）

名称	規格 (mm)	単位	土被り H=0.7m				H=1.1m	H=1.2m
			75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm
鉄蓋設置工(人力)	φ250 150H	か所	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ250 調整ﾘﾝｸﾞ 50H	か所	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ250 上部 150H	か所					10.00	
土留側設置工(人力)	φ200 下部 300H	か所					10.00	
土留側設置工(人力)	φ250 上下部 150H	か所				10.00		
土留側設置工(人力)	φ250 上下部 300H	か所	10.00	10.00	10.00			10.00
土留側設置工(人力)	φ250 土留板 40H	か所	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m2	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30

2) 標準土被り外 ･･･P1071161

標準土被り外におけるソフトシール仕切弁室築造工の施工歩掛は次表を標準とする。

土留側設置は、φ250 の上部、中部、下部、上下部土留側を対象とする。

ソフトシール仕切弁室築造工施工歩掛（10 箇所当り）

名称	規格 (mm)	単位	数量
鉄蓋設置工(人力)	φ250 150H	か所	10.00
土留側設置工(人力)	φ250 調整ﾘﾝｸﾞ 50H	か所	設置個数×10.00
土留側設置工(人力)	φ250 土留側	か所	設置個数×10.00
土留側設置工(人力)	φ250 土留板 40H	か所	設置個数×10.00
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m2	3.30

(8) 消火栓室築造工　･･･P1071165

消火栓室築造工の施工歩掛は次表を標準とする。

消火栓室築造工施工歩掛（10 箇所当り）

名称	規格 (mm)	単位	消火栓 75 mm
鉄蓋設置工(人力)	φ500 100H	か所	10.00
土留側設置工(人力)	φ500 調整ﾘﾝｸﾞ 50H	か所	10.00
土留側設置工(人力)	φ500 上部 200H	か所	10.00
土留側設置工(人力)	φ500 下部 100H	か所	10.00
土留側設置工(人力)	φ500 土留板 40H	か所	10.00
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m2	5.00

(9) 弁室築造工(補修弁付)　･･･P1071170

弁室築造工(補修弁付)の施工歩掛は次表を標準とする。

弁室築造工(補修弁付) 補修弁付空気弁付消火栓室（75mm）施工歩掛（10 箇所当り）

名称	規格 (mm)	単位	補修弁付空気弁消火栓 75mm	
			300～900mm	900～1,000mm (人孔ふた)
円形鉄蓋	φ600 黄色表示	個	10.00	10.00
鉄蓋設置工(人力)	φ600 黄色表示	か所	10.00	10.00
調整ﾘﾝｸﾞ	φ600 50H	個	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 調整ﾘﾝｸﾞ 50H	か所	10.00	10.00
上部土留側	φ600 200H	個	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 上部 200H	か所	10.00	10.00
中部土留側	φ600 100H	個	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 中部 100H	か所	10.00	10.00
下部土留側	φ600 300H	個	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 下部 300H	か所	10.00	10.00
土留板	φ600 40H	枚	10.00	10.00
土留側設置工（人力）	φ600 土留板 40H	か所	10.00	10.00
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m2	6.40	6.40

弁室築造工(補修弁付) 補修弁付双口消火栓室 (100㎜) 施工歩掛 (10 箇所当り)

名称	規格 (㎜)	単位	補修弁付双口消火栓 100㎜	
			300～900㎜	900～1,000㎜ (人孔ふた)
円形鉄蓋	φ600 黄色表示	個	10.00	10.00
鉄蓋設置工(人力)	φ600 黄色表示	か所	10.00	10.00
調整ﾘﾝｸﾞ	φ600 50H	個	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 調整ﾘﾝｸﾞ 50H	か所	10.00	10.00
上部土留側	φ600 200H	個	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 上部 200H	か所	10.00	10.00
中部土留側	φ600 100H	個	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 中部 100H	か所	10.00	10.00
下部土留側	φ600 300H	個	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 下部 300H	か所	10.00	10.00
土留板	φ600 40H	枚	10.00	10.00
土留側設置工 (人力)	φ600 土留板 40H	か所	10.00	10.00
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m2	6.40	6.40

弁室築造工(補修弁付) 補修弁付急速空気弁室 (25～150㎜) 施工歩掛 (10 箇所当り)

名称	規格 (㎜)	単位	補修弁付急速空気弁 25～150㎜	
			300～1,000㎜	900～1,000㎜ (人孔ふた)
円形鉄蓋	φ600 無色	個	10.00	10.00
鉄蓋設置工(人力)	φ600 無色	か所	10.00	10.00
調整ﾘﾝｸﾞ	φ600 50H	個	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 調整ﾘﾝｸﾞ 50H	か所	10.00	10.00
上部土留側	φ600 200H	個	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 上部 200H	か所	10.00	10.00
中部土留側	φ600 100H	個	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 中部 100H	か所	10.00	10.00
下部土留側	φ600 300H	個	10.00	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 下部 300H	か所	10.00	10.00
土留板	φ600 40H	枚	10.00	10.00
土留側設置工 (人力)	φ600 土留板 40H	か所	10.00	10.00
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m2	6.40	6.40

(10) 空気弁付消火栓室築造工（75㎜） ･･･P1071175

空気弁付消火栓室築造工（75㎜）の施工歩掛は次表を標準とする。

空気弁付消火栓室築造工（75㎜）施工歩掛（10 箇所当り）

名称	規格 (㎜)	単位	空気弁付消火栓 75㎜
			75～200㎜
円形鉄蓋	φ600 黄色表示	個	10.00
鉄蓋設置工(人力)	φ600 黄色表示	か所	10.00
調整ﾘﾝｸﾞ	φ600 50H	個	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 調整ﾘﾝｸﾞ 50H	か所	10.00
上部土留側	φ600 200H	個	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 上部 200H	か所	10.00
下部土留側	φ600 200H	個	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 下部 200H	か所	10.00
土留板	φ600 40H	枚	10.00
土留側設置工（人力）	φ600 土留板 40H	か所	10.00
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m2	6.40

(11) 急速空気弁室築造工 ･･･P1071180

急速空気弁室築造工の施工歩掛は次表を標準とする。

急速空気弁室築造工施工歩掛（10 箇所当り）

名称	規格 (㎜)	単位	急速空気弁 13 ㎜, 20 ㎜, 25 ㎜
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m2	5.00
土留側設置工(人力)	φ500 調整ﾘﾝｸﾞ 50H	か所	10.00
土留側設置工(人力)	φ500 土留板 40H	か所	10.00
土留側設置工(人力)	φ500 上部 200H	か所	10.00
土留側設置工(人力)	φ500 下部 100H	か所	10.00
鉄蓋設置工(人力)	φ500 鉄蓋 100H	m3	10.00

(12) ゴムシート形バタフライ弁室築造工（500mm～1,000mm）　･･･P1071185

ゴムシート形バタフライ弁室築造工（500mm～1,000mm）の施工歩掛は次表を標準とする。

ゴムシート形バタフライ弁室築造工（500mm～1,000mm）施工歩掛（10 箇所当り）

名称	規格 (mm)	単位	ゴムシート形 バタフライ弁 500mm～1,000mm
円形鉄蓋	φ600 無色	個	10.00
鉄蓋設置工(人力)	φ600 無色	か所	10.00
調整ﾘﾝｸﾞ	φ600　50H	個	10.00
土留側設置工(人力)	φ600 調整ﾘﾝｸﾞ 50H	か所	10.00
上部土留側	φ600　200H	個	10.00
土留側設置工(人力)	φ600　上部　200H	か所	10.00
中部土留側	φ600　300H	個	10.00
土留側設置工(人力)	φ600　中部　300H	か所	10.00
下部土留側	φ600　300H	個	10.00
土留側設置工(人力)	φ600　下部　300H	か所	10.00
土留板	φ600　40H	枚	10.00
土留側設置工（人力）	φ600 土留板 40H	か所	10.00
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m2	6.40

１０　連絡工

本項は「広島市水道局独自基準」とする。

(1) 連絡工　･･･P1071211

連絡工の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、口径 800mm 以上の場合については、別途協議する。

連絡工施工歩掛（1 か所当り）

名称	規格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	摘要
普通作業員		人	0.320	0.320	0.370	0.420	0.530	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	400mm	450mm	500mm	600mm	700mm	摘要
普通作業員		人	0.640	0.710	0.780	0.950	1.300	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

１１　給水管布設用管据付

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 布設工用ビニル管据付　･･･P1071221

布設工用ビニル管据付の施工歩掛は次表を標準とする。

布設工用ビニル管据付施工歩掛（100m当り）

名称	規格	単位	数量			摘要
			25mm	40mm	50mm	
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	HI	m	100.000	100.000	100.000	
ｿｹｯﾄ	HI	こ	25.000	25.000	25.000	
ﾋﾞﾆﾙ管据付		m	100.000	100.000	100.000	
ﾋﾞﾆﾙ管継手		か所	50.000	50.000	50.000	

(2) 布設工用ポリエチレン管据付　･･･P1071223

布設工用ポリエチレン管据付の施工歩掛は次表を標準とする。

布設工用ポリエチレン管据付施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	数量			摘要
			25mm	40mm	50mm	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	PP	m	10.000	10.000	10.000	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付		m	10.000	10.000	10.000	

１２　水替工

本項は「下水道用設計標準歩掛表」に基づくものとする。

(1) 水替工　･･･P1010150

水替工の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ) 普通作業員は、現場内でのポンプの移設及び補助労務等を行うものとする。

(ｲ) 諸雑費には、発動発電機燃料及び、吐出配管・水槽損料等の費用を含む。

水替工施工歩掛（1 式当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
ポンプ運転工		日		
据付・撤去工		か所		

ポンプ運転工施工歩掛（下位代価）（1 日当り）　･･･P1010735

名称	規格	単位	数量	摘要
特殊作業員		人	0.110	
普通作業員		人	0.050	
工事用水中モータポンプ	口径 50mm 0.4kW	日	1.000	標準運転損料
発動発電機	ガソリン 3KVA	日	1.000	損料
諸雑費	労務費、機械損料	%	18.000	率あり

据付・撤去工施工歩掛（下位代価）（1 か所当り）　･･･P1010740

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	0.080	
諸雑費		式	1	端数処理

１３　既設管撤去工（鋳鉄管）

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 適用範囲

本項は本設または仮設された既設管の撤去（呼び径 1,000mm 以下）に係る管切断または継手取り外し及び管吊上げ積込に適用する。

なお、同一工事内で設置撤去する仮配管の撤去に係る管切断または継手取り外し及び管吊上げ積込については、「水道事業実務必携」の「仮設配管工の積算」を適用する。

(2) 鋳鉄管切断　･･･P1070312

本歩掛は、管撤去のための切断、放棄管へのモルタル充填工のための管切断等、工事等により供用を廃止した管路を切断する場合に適用する。(新設管の切断、新旧管連絡か所やＴ字管取除きか所等における既設管の切断か所など、供用を開始または供用中の管路を切断する場合には適用できない。)

1)　補正係数

鋳鉄管切断の施工歩掛は、次表の補正対象歩掛の労務費に補正係数を乗じて算出する。

なお、切断数量は 6ｍ当り 1 か所を標準とするが、現場の状況に応じて別途定めることができる。

補正対象歩掛及び補正係数

撤去管		補正対象歩掛	補正係数
種別	口径		
鋳鉄管（FC）	350mm 以下	鋳鉄管切断歩掛表	0.25
	400mm 以上 2,000mm 以下		0.35
ダクタイル鋳鉄管（FCD）	350mm 以下		0.27
	400mm 以上 2,000mm 以下		0.46

2) 施工歩掛

鋳鉄管切断の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) 本歩掛の諸雑費には、燃料、カッター刃の損耗費を含む

撤去管（FC）切断（エンジンカッター使用）施工歩掛（1 か所当り）

名称	規格	単位	≦50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	摘要
特殊作業員		人	0.008	0.008	0.008	0.010	0.013	0.015	
普通作業員		人	0.015	0.015	0.015	0.020	0.023	0.045	
機械損料		日	0.030	0.030	0.030	0.040	0.050	0.060	既設管撤去工用
諸雑費	労務費	%	30.000	30.000	30.000	30.000	30.000	30.000	率あり

名称	規格	単位	400mm	500mm					摘要
特殊作業員		人	0.025	0.032					
普通作業員		人	0.077	0.119					
機械損料		日	0.070	0.090					既設管撤去工用
諸雑費	労務費	%	30.000	30.000					率あり

撤去管（FC）切断（パイプ切削切断機使用）施工歩掛（1 か所当り）

名称	規格	単位	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.137	0.151	0.168	0.182	0.200	
普通作業員		人	0.532	0.627	0.721	0.816	0.910	
機械損料		日	0.340	0.400	0.450	0.500	0.550	既設管撤去工用
諸雑費	労務費	%	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	率あり

名称	規格	単位	1,100mm	1,200mm	1,350mm	1,500mm	摘要
特殊作業員		人	0.214	0.231	0.245	0.270	
普通作業員		人	1.001	1.096	1.236	1.456	
機械損料		日	0.600	0.650	0.730	0.820	既設管撤去工用
諸雑費	労務費	%	5.000	5.000	5.000	5.000	率あり

撤去管（FCD）切断（エンジンカッター使用）施工歩掛（1 か所当り）

名称	規格	単位	≦50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	摘要
特殊作業員		人	0.008	0.008	0.008	0.011	0.014	0.016	
普通作業員		人	0.016	0.016	0.016	0.022	0.024	0.049	
機械損料		日	0.030	0.030	0.030	0.040	0.050	0.060	既設管撤去工用
諸雑費	労務費	%	30.000	30.000	30.000	30.000	30.000	30.000	率あり

名称	規格	単位	400mm	500mm					摘要
特殊作業員		人	0.032	0.041					
普通作業員		人	0.101	0.156					
機械損料		日	0.070	0.090					既設管撤去工用
諸雑費	労務費	%	30.000	30.000					率あり

撤去管（FCD）切断（パイプ切削切断機使用）施工歩掛（1 か所当り）

名称	規格	単位	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.179	0.198	0.221	0.239	0.262	
普通作業員		人	0.699	0.823	0.948	1.072	1.196	
機械損料		日	0.340	0.400	0.450	0.500	0.550	既設管撤去工用
諸雑費	労務費	%	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	率あり

名称	規格	単位	1,100mm	1,200mm	1,350mm	1,500mm	摘要
特殊作業員		人	0.281	0.304	0.322	0.354	
普通作業員		人	1.316	1.440	1.624	1.914	
機械損料		日	0.600	0.650	0.730	0.820	既設管撤去工用
諸雑費	労務費	%	5.000	5.000	5.000	5.000	率あり

(3) 鋳鉄管吊上げ積込（人力） ･･･P1070102

1) 補正係数

鋳鉄管吊上げ積込（人力）の施工歩掛は、次表の補正対象歩掛に補正係数を乗じて算出する。

補正対象歩掛及び補正係数

撤去管種	補正対象歩掛	補正係数
鋳鉄管	吊込み据付(人力)歩掛表	0.60

2) 施工歩掛

鋳鉄管吊上げ積込（人力）の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) 本歩掛は、一般的な配管工事における標準的な鋳鉄管吊上げ積込の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

鋳鉄管吊上げ積込（人力）施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	75mm 以下	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.102	0.114	0.150	0.222	0.300	
普通作業員		人	0.312	0.390	0.546	0.678	0.828	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	300mm	350mm	400mm	450mm	500mm	摘要
特殊作業員		人	0.390	0.540	0.684	0.840	0.990	
普通作業員		人	0.996	1.188	1.422	1.656	1.902	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	600mm	700mm	800mm	900mm	1000mm	摘要
特殊作業員		人	1.296	1.608	1.974	2.226	2.532	
普通作業員		人	2.400	2.892	3.366	3.852	4.572	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

(4) 鋳鉄管吊上げ積込（機械） ･･･P1070101

1) 補正係数

鋳鉄管吊上げ積込（機械力）の施工歩掛は、次表の補正対象歩掛に補正係数を乗じて算出する。

補正対象歩掛及び補正係数

撤去管種	補正対象歩掛	補正係数
鋳鉄管	吊込み据付(機械力)歩掛表	0.60

2) 施工歩掛

鋳鉄管吊上げ積込（機械力）の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) 本歩掛は、一般的な配管工事における標準的な鋳鉄管吊上げ積込の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

(ｳ) 吊込み管径 350mm 以下の吊込み機械は、現場の状況に応じトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型）4.9ｔ吊またはバックホウ（クレーン仕様）クローラ型クレーン機能付 2.9ｔ吊を使用することができる。

なお、バックホウ（クレーン仕様）は、「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。

鋳鉄管吊上げ積込（機械力）施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	75mm 以下	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.036	0.042	0.054	0.060	0.066	
普通作業員		人	0.078	0.078	0.090	0.096	0.102	
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t 積･2.9t 吊	h	0.726	0.726	0.804	0.846	0.882	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	300mm	350mm	400mm	450mm	500mm	摘要
特殊作業員		人	0.078	0.102	0.126	0.150	0.174	
普通作業員		人	0.114	0.150	0.186	0.222	0.258	
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t 積･2.9t 吊	h	0.924	0.966	—	—	—	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(賃料)	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ 4.9t 吊	日	—	—	0.174	0.180	0.192	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.216	0.264	0.312	0.378	0.468	
普通作業員		人	0.330	0.396	0.480	0.552	0.702	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(賃料)	油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ 4.9t 吊	日	0.204	0.216	0.234	0.246	—	
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ(賃料)	16ｔ吊	日	—	—	—	—	0.270	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

(5) 鋳鉄管継手取外し

1) 補正係数

鋳鉄管継手取外しの施工歩掛は、次表の補正対象歩掛に補正係数を乗じて算出する。
ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 補正対象とする歩掛は、離脱防止・異形管・G-Link 等の割増を考慮しない継手歩掛表を指す。ただし、K形継手（特殊継手）の取外しは割増した継手歩掛を対象とする。

(ｲ) ＳⅡ形、Ｓ形、ＮＳ形及びＧＸ形の場合、ロックリング取外しまで含む。

(ｳ) ＮＳ形直管 500～1000mm においてライナ取外しを含む場合のみ、補正係数を 10%割増すること。

(ｴ) 特殊割押輪が設置されているＮＳ形直管 75～450mm、異形管 75mm～250mm 及び異形管 500～1,000mm は、「ＮＳ形継手歩掛表」を適用する。

(ｵ) 特殊割押輪が設置されているＮＳ形異形管 300～450mm は、「メカニカル形継手歩掛表」を適用する。

(ｶ) ＧＸ形直管においてはライナ取外しの有無に係わらず適用する。

(ｷ) 特殊割押輪が設置されているＧＸ形直管 75mm～400mm 及び特殊形押輪が設置されているＧＸ形異形管（継ぎ輪）400mm は、「ＧＸ形継手歩掛表」を適用する。

(ｸ) 本表以外の継手の場合は別途考慮すること。

補正対象歩掛及び補正係数

鋳鉄管管種	補正対象歩掛		補正係数
K形	K形継手（標準継手）歩掛表		0.60
	K形継手（特殊継手）歩掛表		
フランジ	フランジ形継手歩掛表		
T形	T形継手歩掛表		
S・SⅡ型	K形継手（標準継手）歩掛表		1.00
NS 形直管	75mm～450mm	NS 形継手接合歩掛表	2.50
	500mm～1000mm	NS 形継手接合歩掛表	0.70
	500mm～1000mm(ライナ部)	NS 形継手接合歩掛表	0.77
NS 形異形管	75mm～250mm	NS 形継手接合歩掛表	2.50
	300mm～450mm	K形継手（標準継手）歩掛表	2.50
	500mm～1000mm	NS 形継手接合歩掛表	0.70
GX 形直管	75mm～400mm	GX 形継手接合歩掛表	2.30
GX 形異形管	75mm～400mm	GX 形継手接合歩掛表	2.50
GX 形 G-Link	75mm～300mm	GX 形継手接合歩掛表(異形管)	1.60

2)　K形継手取外し（標準継手）　･･･P1070203

K形継手取外し（標準継手）の施工歩掛は次表を標準とする。

K形継手取外し（標準継手）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	≦75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.030	0.030	0.036	0.042	0.048	0.054	0.060	
普通作業員		人	0.030	0.030	0.036	0.042	0.048	0.054	0.060	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1000mm		摘要
特殊作業員		人	0.072	0.084	0.096	0.126	0.144	0.168		
普通作業員		人	0.072	0.084	0.096	0.126	0.144	0.168		
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000		率あり

3)　K形継手取外し（特殊継手）　･･･P1070203

K形継手取外し（特殊継手）の施工歩掛は次表を標準とする。

K形継手取外し（特殊継手）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	≦75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.035	0.035	0.041	0.048	0.055	0.062	0.069	
普通作業員		人	0.035	0.035	0.041	0.048	0.055	0.062	0.069	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm		摘要
特殊作業員		人	0.083	0.097	0.110	0.145	0.187	0.218		
普通作業員		人	0.083	0.097	0.110	0.145	0.187	0.218		
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000		率あり

4)　フランジ継手取外し　･･･P1070208

フランジ継手取外しの施工歩掛は次表を標準とする。

フランジ継手取外し（0.75MPa）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	≦65mm	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.030	0.036	0.036	0.042	0.048	0.066	0.072	
普通作業員		人	0.030	0.036	0.036	0.042	0.048	0.066	0.072	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm		摘要
特殊作業員		人	0.084	0.102	0.114	0.144	0.174	0.204		
普通作業員		人	0.084	0.102	0.114	0.144	0.174	0.204		
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000		率あり

フランジ継手取外し（1.00MPa）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	≦65mm	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.030	0.066	0.066	0.072	0.078	0.102	0.108	
普通作業員		人	0.030	0.066	0.066	0.072	0.078	0.102	0.108	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm		摘要
特殊作業員		人	0.132	0.150	0.168	0.198	0.234	0.264		
普通作業員		人	0.132	0.150	0.168	0.198	0.234	0.264		
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000		率あり

5)　Ｔ形継手取外し（標準継手、特殊継手）　･･･P1070201

Ｔ形継手取外し（標準継手、特殊継手）の施工歩掛は次表を標準とする。

Ｔ形継手取外し（標準継手・特殊継手）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	≦75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.030	0.030	0.030	0.036	0.042	
普通作業員		人	0.030	0.030	0.030	0.036	0.042	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

6)　ＮＳ形継手取外し　･･･P1070218

ＮＳ形継手取外しの施工歩掛は次表を標準とする。

ＮＳ形継手取外し（直管）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	300mm	350mm	400mm	450mm	摘要
特殊作業員		人	0.125	0.125	0.125	0.150	0.175	0.250	0.250	0.275	0.300	
普通作業員		人	0.125	0.125	0.125	0.150	0.175	0.250	0.250	0.275	0.300	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	4.000	4.000	4.000	4.000	率あり

ＮＳ形継手取外し（直管 500mm～1,000mm）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.091	0.105	0.126	0.161	0.182	0.217	
普通作業員		人	0.091	0.105	0.126	0.161	0.182	0.217	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手取外し（直管（ライナ部））施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.100	0.116	0.139	0.177	0.200	0.239	
普通作業員		人	0.100	0.116	0.139	0.177	0.200	0.239	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手取外し（異形管（継ぎ輪以外））施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.125	0.125	0.125	0.150	0.175	
普通作業員		人	0.125	0.125	0.125	0.150	0.175	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手取外し（異形管（継ぎ輪））施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	摘要
特殊作業員		人	0.125	0.125	0.150	0.175	0.200	
普通作業員		人	0.125	0.125	0.150	0.175	0.200	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手取外し（異形管）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	300mm	350mm	400mm	450mm	摘要
特殊作業員		人	0.225	0.225	0.250	0.275	
普通作業員		人	0.225	0.225	0.250	0.275	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＮＳ形継手取外し（異形管）施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.091	0.105	0.126	0.161	0.182	0.217	
普通作業員		人	0.091	0.105	0.126	0.161	0.182	0.217	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

7)　ＳⅡ形継手取外し　･･･P1070203

ＳⅡ形継手取外しの施工歩掛は次表を標準とする。

ＳⅡ形継手取外し施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.050	0.050	0.060	0.070	0.080	0.090	0.100	
普通作業員		人	0.050	0.050	0.060	0.070	0.080	0.090	0.100	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

8)　Ｓ形継手取外し　･･･P1070203

Ｓ形継手取外しの施工歩掛は次表を標準とする。

Ｓ形継手取外し施工歩掛（1口当り）

名称	規格	単位	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	摘要
特殊作業員		人	0.120	0.140	0.160	0.210	0.240	0.280	
普通作業員		人	0.120	0.140	0.160	0.210	0.240	0.280	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

9) ＧＸ形継手取外し ･･･P1070180

ＧＸ形継手取外しの施工歩掛は次表を標準とする。

ＧＸ形継手取外し（直管部(ライナ使用部含む)）施工歩掛（1 口当り）

名称	規格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.115	0.115	0.115	0.138	0.207	0.230	
普通作業員		人	0.115	0.115	0.115	0.138	0.207	0.230	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＧＸ形継手取外し（異形管部）施工歩掛（1 口当り）

名称	規格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.125	0.125	0.150	0.175	0.225	0.300	
普通作業員		人	0.125	0.125	0.150	0.175	0.225	0.300	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＧＸ形継手取外し（G-Link 部）施工歩掛（1 口当り）

名称	規格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	摘要
特殊作業員		人	0.080	0.080	0.096	0.112	0.144	
普通作業員		人	0.080	0.080	0.096	0.112	0.144	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

ＧＸ形継手取外し（異形管部（継ぎ輪（特殊形押輪））施工歩掛（1 口当り）

名称	規格	単位	400mm	摘要
特殊作業員		人	0.300	
普通作業員		人	0.300	
諸雑費	労務費	%	1.000	率あり

１４　既設管撤去工（鋼管、ビニル管、ポリエチレン管）

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 管切断

1)　補正係数

鋼管、硬質塩化ビニル管及びポリエチレン管の切断歩掛は、次表の補正対象歩掛に補正係数を乗じて算出する。

なお、切断数量は 6m当り 1 か所を標準とするが、現場の状況に応じて別途定めることができる。

補正対象歩掛及び補正係数

撤去管		補正対象歩掛	補正係数
種別	口径		
鋼管	350mm 以下	鋼管切断歩掛表	0.25
硬質塩化ビニル管	―	硬質塩化ビニル管切断歩掛表	0.25
ポリエチレン管	―	ポリエチレン管切断歩掛表	0.25

2)　鋼管切断（小口径）　･･･P1070209

鋼管切断（小口径）の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛は、一般的な配管工事における標準的な鋼管切断の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

(ｲ) 諸雑費には、燃料、カッター刃の損耗費を含む。

鋼管切断（小口径）施工歩掛（1 口当り）

名称	規格	単位	13mm	20mm	25mm	32mm	40mm	摘要
特殊作業員		人	0.003	0.003	0.003	0.003	0.005	
普通作業員		人	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	
諸雑費	労務費	%	3.000	3.000	3.000	3.000	3.000	率あり

名称	規格	単位	50mm	80mm	100mm	125mm	150mm	摘要
特殊作業員		人	0.005	0.008	0.008	0.010	0.010	
普通作業員		人	0.003	0.005	0.005	0.008	0.008	
諸雑費	労務費	%	3.000	3.000	3.000	3.000	3.000	率あり

3)　硬質塩化ビニル管切断　･･･P1070303

硬質塩化ビニル管切断の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、本歩掛の諸雑費には工具損料、損耗費等を含む。

硬質塩化ビニル管切断施工歩掛（1 か所当り）

名称	規格	単位	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	摘要
特殊作業員		人	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	
普通作業員		人	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	75mm	100mm	125mm	150mm		摘要
特殊作業員		人	0.005	0.005	0.005	0.005		
普通作業員		人	0.005	0.005	0.005	0.005		
諸雑費	労務費	%	5.000	5.000	5.000	5.000		率あり

4) ポリエチレン管切断 ･･･P1070304

ポリエチレン管切断の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、本歩掛の諸雑費には工具損料、損耗費等を含む。

ポリエチレン管切断施工歩掛（1 か所当り）

名称	規格	単位	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	摘要
特殊作業員		人	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	
普通作業員		人	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	
諸雑費	労務費	%	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	率あり

名称	規格	単位	75mm	100mm	150mm	200mm		摘要
特殊作業員		人	0.003	0.005	0.005	0.005		
普通作業員		人	0.003	0.005	0.005	0.005		
諸雑費	労務費	%	7.000	7.000	7.000	7.000		率あり

(2) 管吊上げ積込

1) 補正係数

鋼管及び硬質塩化ビニル管の吊上げ積込歩掛は、次表の補正対象歩掛に補正係数を乗じて算出する。

補正対象歩掛及び補正係数

撤去管種	補正対象歩掛	補正係数
鋼管	鋼管小口径管据付歩掛	0.60
硬質塩化ビニル管	硬質塩化ビニル管据付歩掛	0.60
ポリエチレン管	ポリエチレン管据付歩掛	0.60

2) 鋼管吊上げ積込（小口径） ･･･P1070103

鋼管吊上げ積込（小口径）の施工歩掛は次表を標準とする。

(ｱ) 本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) 本歩掛は、一般的な配管工事における標準的な鋼管吊上げ積込の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

鋼管吊上げ積込（小口径）施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	13mm	20mm	25mm	32mm	40mm	50mm	摘要
特殊作業員		人	0.060	0.066	0.078	0.084	0.090	0.108	
普通作業員		人	0.060	0.072	0.078	0.084	0.096	0.108	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	80mm	100mm	125mm	150mm			摘要
特殊作業員		人	0.120	0.138	0.150	0.180			
普通作業員		人	0.138	0.150	0.180	0.210			
諸雑費		式	1	1	1	1			端数処理

3) 硬質塩化ビニル管吊上げ積込 ･･･P1070104

硬質塩化ビニル管吊上げ積込の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) 本歩掛は、一般的な配管工事における標準的な硬質塩化ビニル管吊上げ積込の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

硬質塩化ビニル管吊上げ積込施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	摘要
特殊作業員		人	0.036	0.042	0.042	0.048	0.060	
普通作業員		人	0.060	0.072	0.072	0.084	0.108	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

名称	規格	単位	75mm	100mm	125mm	150mm		摘要
特殊作業員		人	0.060	0.072	0.072	0.108		
普通作業員		人	0.108	0.120	0.120	0.156		
諸雑費		式	1	1	1	1		端数処理

4) ポリエチレン管吊上げ積込 ･･･P1070105

ポリエチレン管吊上げ積込の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛には、20m程度の現場内小運搬を含む。

(ｲ) 本歩掛は、一般的な配管工事における標準的なポリエチレン管吊上げ積込の施工歩掛を示したものであり、現場の状況に応じて割増することができる。

ポリエチレン管吊上げ積込施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	摘要
特殊作業員		人	0.036	0.042	0.042	0.048	0.048	0.060	
普通作業員		人	0.060	0.072	0.072	0.084	0.084	0.108	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	端数処理

ポリエチレン管（融着接合(EF 接合)）吊上げ積込施工歩掛（10m当り）

名称	規格	単位	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	摘要
特殊作業員		人	0.060	0.060	0.072	0.108	0.150	
普通作業員		人	0.108	0.108	0.120	0.156	0.294	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	端数処理

１５　既設管端末処理工　･･･P1070111

本項は「広島市水道局独自基準」とする。

既設管端末処理工の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) ポリエチレン管（PP）用の施工歩掛については、配水管用ポリエチレン管（HPPE）には適用できない。

ﾋﾞﾆﾙ管（VP、HIVP）用施工歩掛（10 箇所当り）

名称	規格	単位	25mm	40mm	50mm	摘要
ｷｬｯﾌﾟ	25mm VP	個	10.000	—	—	
ｷｬｯﾌﾟ	40mm VP	個	—	10.000	—	
ｷｬｯﾌﾟ	50mm VP	個	—	—	10.000	
管継手	ﾋﾞﾆﾙ管 25mm	口	10.000	—	—	
管継手	ﾋﾞﾆﾙ管 40mm	口	—	10.000	—	
管継手	ﾋﾞﾆﾙ管 50mm	口	—	—	10.000	

ポリエチレン管（PP）用施工歩掛（10 箇所当り）

名称	規格	単位	25mm	40mm	50mm	摘要
ﾊﾟｲﾌﾟｴﾝﾄﾞ	25mm PP 用	個	10.000	—	—	
ﾊﾟｲﾌﾟｴﾝﾄﾞ	40mm PP 用	個	—	10.000	—	
ﾊﾟｲﾌﾟｴﾝﾄﾞ	50mm PP 用	個	—	—	10.000	
管継手	PP 25mm	口	10.000	—	—	
管継手	PP 40mm	口	—	10.000	—	
管継手	PP 50mm	口	—	—	10.000	

鋳鉄管、鋼管、ビニル管（VP、HIVP）用施工歩掛（10 箇所当り）

名称	規格	単位	50mm	75mm	100mm	摘要
モルタル練	普通 1:3	m3	0.004	0.009	0.016	ビニル管（VP、HIVP）の適用は 75 ㎜から。
土のう		袋	10.000	10.000	10.000	ビニル管（VP、HIVP）の適用は 75 ㎜から。

名称	規格	単位	150mm	200mm	250mm	摘要
モルタル練	普通 1:3	m3	0.035	0.063	0.098	ビニル管（VP、HIVP）の適用は 75 ㎜から。
土のう		袋	10.000	10.000	10.000	ビニル管（VP、HIVP）の適用は 75 ㎜から。

１６　充填工

(1) 充填工　･･･P1050050

「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(2) 流動化充填材　･･･P1050052

「広島市水道局独自基準」とする。

流動化充填材の配合は次表を標準とする。

流動化充填材（1m3 当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
高炉セメント	袋物	t	0.240	
流動化剤		kg	50.000	

(3) 充填設備据付撤去工　･･･P1050051

「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(4) 管閉塞工　･･･P1070112

「広島市水道局独自基準」とする。

管閉塞工の施工歩掛は次表を標準とする。

管閉塞施工歩掛（10 箇所当り）

名称	規格	単位	50mm	75mm	100mm	摘要
モルタル練	普通 1:3	m3	0.004	0.009	0.016	
土のう		袋	10.000	10.000	10.000	

名称	規格	単位	150mm	200mm	250mm	摘要
モルタル練	普通 1:3	m3	0.035	0.063	0.098	
土のう		袋	10.000	10.000	10.000	

第７章　路面復旧工

１　ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装復旧工

本項は「水道事業実務必携」、「土木工事標準積算基準書」及び「広島市水道局独自基準」に基づくものとする。

(1) 舗装復旧工　･･･P1060200

舗装復旧工の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ)　ｱｽﾌｧﾙﾄ殻の処理は、別途計上すること。

(ｲ)　掘削部の路盤すき取り工及び床掘りは、本舗装厚と仮舗装厚の差が 3cm 以上の場合に計上し、再生砕石の処理についても別途計上すること。

(ｳ)　不陸整正工は、掘削部では補足材なし、影響部では補足材 3cm を標準とする。ただし、影響部において、舗装と路盤の間に瀝青材料を用いない場合は補足材なしとする。

ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装復旧　施工歩掛（100m2 当り）掘削部（本舗装厚と仮舗装厚の差が 3cm 以上）

【県道（車道）・市道 A 号工・市道 B 号工】

名称	規格	単位	数量	摘要	適用する基準
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工	車道	m2	100.000		施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB410260） 施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB410240） 施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB410040）
舗装版破砕工	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	m2	100.000	仮舗装の破砕 3cm	水道事業実務必携（P1010132）
	人力				施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB430310）
路盤すき取り工	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	m3	（舗装厚－仮舗装厚） ×100m2	路盤すき取り	広島市水道局独自基準 （P1060102）
床掘り	人力	m3			施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB210030）
不陸整正工		m2	100.000	補足材なし	水道事業実務必携（P1060101）

ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装復旧　施工歩掛（100m2 当り）掘削部（本舗装厚と仮舗装厚の差が 2cm 以下）

【県道（歩道）・市道 C 号工・市道 D 号工・市道 E 号工・市道 F 号工・市道 G 号工・透水性舗装（歩道）】

名称	規格	単位	数量	摘要	適用する基準
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工	車道	m2	100.000		施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB410260）
	歩道 （透水性舗装以外）				施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB410261）
	歩道（透水性舗装）				施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB410660）
舗装版破砕工	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	m2	100.000	仮舗装の破砕 3cm	水道事業実務必携（P1010132）
	人力				施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB430310）
不陸整正工		m2	100.000	補足材なし	水道事業実務必携（P1060101）

ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装復旧　施工歩掛（100m2 当り）影響部

名称	規格	単位	数量	摘要	適用する基準
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工	車道	m2	100.000		施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB410260） 施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB410240） 施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB410040）
	歩道 （透水性舗装以外）				施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB410261）
	歩道（透水性舗装）				施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB410660）
舗装版破砕工	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3	m2	100.000	既設舗装の 破砕	水道事業実務必携 （P1010132） 施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB430310）
	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3				水道事業実務必携 （P1010132）
	人力				施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB430310）
	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 （小割）				広島市水道局独自基準 （P1010129）
不陸整正工		m2	100.000	補足材は 3cm を標準(瀝青材料を用いない場合を除く)	水道事業実務必携 （P1060101）

(2) 路盤すき取り工　･･･P1060102

路盤すき取り工の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、ﾊﾞｯｸﾎｳ運転費は、機械掘削工（配管工事用）と同様とする。

路盤すき取り工　施工歩掛①（100m3 当り）

名称	規格	単位	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 （第２次基準値）	摘要
土木一般世話役		人	2.400	
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転	排ｶﾞｽ対策型	日	2.273	
諸雑費		式	1	端数処理

路盤すき取り工　施工歩掛②（100m3 当り）

名称	規格	単位	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 （第２次基準値）	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 （第２次基準値）	摘要
土木一般世話役		人	1.900	1.500	
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転	排ｶﾞｽ対策型	時間	11.100	8.800	
諸雑費		式	1	1	端数処理

(3) 宅地内舗装工　･･･P1010140

宅地内舗装工の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ)　本歩掛は、給水管工における宅地内のｱｽﾌｧﾙﾄ舗装及びこれに準ずる規模の工事に適用する。

(ｲ)　積算基準は、第３章舗装工の２項ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工（施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ）に基づくものとする。

宅地内舗装工施工歩掛（100m2 当り）

名称	規格	単位	数量	摘要	適用する基準
表層 （車道･路肩部）	1.4m 未満（1 層平均仕上り厚 50mm 以下） 再生密粒度ｱｽｺﾝ 13mm 瀝青材量なし 小型車割増あり	m2	100.000		施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB410260）

2　ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧工

本項は「水道事業実務必携」、「土木工事標準積算基準書」及び「広島市水道局独自基準」に基づくものとする。

(1) ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧

1)　ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧　･･･P1010138

ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ)　ｱｽﾌｧﾙﾄ殻、ｺﾝｸﾘｰﾄ殻、再生砕石の処理は、別途計上すること。

(ｲ)　本歩掛は、鉄筋の入らない簡易なｺﾝｸﾘｰﾄ舗装道に適用する。

なお、ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装工の積算において、「土木工事標準積算基準書」のｺﾝｸﾘｰﾄ舗装工に

示す適用範囲に適合しかつ施工ﾌﾛｰに準じた施工となる場合については「土木工事標準積算基準書」に基づき積算すること。

(ｳ) ｺﾝｸﾘｰﾄ（ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧用）の単価は、ｺﾝｸﾘｰﾄﾛｽ率を含む単価とする。

(ｴ) 不陸整正工は、掘削部では補足材なし、影響部では補足材 3cm を標準とする。

ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧　施工歩掛（100m2 当り）掘削部

名称	規格	単位	数量	摘要	適用する基準
ｺﾝｸﾘｰﾄ工 (ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧用)	18-8-40BB	m3	舗装厚×100m2		施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ準用 (P1010141)
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤	PK-3	ﾘｯﾄﾙ	126.000		
舗装版破砕工	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	m2	100.000	仮舗装の破砕 3cm	水道事業実務必携 (P1010132)
	人力				施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ (CB430310)
路盤すき取り工	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	m3	(舗装厚－仮舗装厚) ×100m2	路盤のすき取り	広島市水道局独自基準 (P1060102)
床掘り	人力	m3			施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ (CB210030)
不陸整正工		m2	100.000	補足材なし	水道事業実務必携 (P1060101)

ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧　施工歩掛（100m2 当り）影響部

名　称	規格	単位	数量	摘要	適用する基準
ｺﾝｸﾘｰﾄ工 (ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧用)	18-8-40BB	m3	舗装厚×100m2		施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ準用 (P1010141)
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤	PK-3	ﾘｯﾄﾙ	126.000		
舗装版破砕工	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3	m2	100.000	既設舗装の破砕	水道事業実務必携 (P1010132) 施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ (CB430310)
	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3				水道事業実務必携 (P1010132)
	人力				広島市水道局独自基準 (P1010131)
不陸整正工	再生砕石 RC-30、RC-40	m2	100.000	補足材は 3cm を 標準	水道事業実務必携 (P1060101)

2) ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧 ･･･P1010139

ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ) 本歩掛は、給水管工の宅地内舗装に適用する。

(ｲ) ｺﾝｸﾘｰﾄ（ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧用）の単価は、ｺﾝｸﾘｰﾄﾛｽ率を含む単価とする。

ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧 施工歩掛（100m2 当り）

名 称	規格	単位	数量	摘要	適用する基準
ｺﾝｸﾘｰﾄ工(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧用)	18-8-40BB	m3	舗装厚×100m2		施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ準用（P1010141）
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤	PK-3	ﾘｯﾄﾙ	126.000		

(2) ｺﾝｸﾘｰﾄ工（ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧用） ･･･P1010141

ｺﾝｸﾘｰﾄ工（ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧用）の施工歩掛は、次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ) 本歩掛は､給水管工の宅地内舗装及び鉄筋の入らない簡易なｺﾝｸﾘｰﾄ舗装道に適用する。

なお、ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装工の積算において、「土木工事標準積算基準書」のｺﾝｸﾘｰﾄ舗装工に示す適用範囲に適合しかつ施工ﾌﾛｰに準じた施工となる場合については「土木工事標準積算基準書」に基づき積算すること。

(ｲ) 積算基準は、第４章ｺﾝｸﾘｰﾄ工（施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ）に基づくものとする。

(ｳ) 本歩掛により積算された単価は、ｺﾝｸﾘｰﾄﾛｽ率を含む。

コンクリート工（コンクリート舗装復旧用）施工歩掛（10m3 当り）

名称	規格	単位	数量	摘要	適用する基準
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 設計日打設量 V＜10m3/日未満かつ 打設地上高さ-1m≦H≦1m 18-8-40BB 一般養生 現場内小運搬無し	m3	10.000		施工パッケージ (CB240010)

3 地下埋設物標示鋲設置工

本項は「広島市水道局独自基準」とする。

(1) 地下埋設物標示鋲設置工 ･･･P1060400

地下埋設物標示鋲設置工の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛は、原則、本復旧完了後における地下埋設物標示鋲の設置に適用する。

(ｲ) ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装部、区画線部及び視覚障害者誘導標示部は、原則、設置しないこと。

地下埋設物標示鋲設置工 施工歩掛（1 式当り）

名 称	規格	単位	数量	摘要
地下埋設物標示鋲		個	1.000	
地下埋設物標示鋲設置工 （下位代価）		箇所	1.000	

(2) 地下埋設物標示鋲設置工（下位代価）　･･･P1060401

地下埋設物標示鋲設置工（下位代価）の施工歩掛は次表を標準とする。

地下埋設物標示鋲設置工（下位代価）　施工歩掛（10 箇所当り）

名　称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	0.380	
諸雑費	労務費	%	6.000	率あり

4　ﾌﾞﾛｯｸ舗装復旧工

本項は「水道事業実務必携」、「土木工事標準積算基準書」及び「広島市水道局独自基準」に基づくものとする。

(1) ﾌﾞﾛｯｸ舗装復旧　･･･P1060210

舗装復旧工の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点について注意すること。

(ｱ)　本歩掛の適用範囲は、「土木工事標準積算基準書」の「インターロッキングブロック工」、「特殊ブロック設置工」に基づくものとする。ただし、敷材料に再生砂以外を使用する場合は、本歩掛の適用外とする。

(ｲ)　ｱｽﾌｧﾙﾄ殻、再生砕石、撤去する既設ブロックの処理は、別途計上すること。

(ｳ)　インターロッキングブロック舗装の掘削部においては、路盤すき取り後に敷砂層を設けるにあたり材料費として再生砂を計上する。

使用数量は設計数量にロス率を割増する。

使用数量(m3)＝設計数量(m3)×（１＋K）

砂のロス率（K）

ロス率	＋0.29

(ｴ)　特殊ブロック（研磨平板、その他規格）の新材を設置する場合は、設計積算システムに材料費が登録されていないため、別途入力すること。

(ｵ)　掘削部の不陸整正工は、補足材なしを標準とする。

ﾌﾞﾛｯｸ舗装復旧　施工歩掛（100m2 当り）掘削部

名称	規格	単位	数量	摘要	適用する基準
ﾌﾞﾛｯｸ舗装工	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ	m2	100.000	再利用設置時は材料費差引き	土木工事標準積算基準書（PD810405）
	特殊ﾌﾞﾛｯｸ				施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB422530）
舗装版破砕工	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	m2	100.000	仮舗装の破砕	水道事業実務必携（P1010132）
	人力				施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB430310）
路盤すき取り工	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	m3	(ﾌﾞﾛｯｸ厚＋敷砂層厚－仮舗装厚)×100m2	路盤すき取り	広島市水道局独自基準（P1060102）
床掘り	人力	m3			施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB210030）
砂	再生砂	m3	敷砂層厚×100m2×1.29	必要に応じて計上	
不陸整正工		m2	100.000	補足材なし	水道事業実務必携（P1060101）

ﾌﾞﾛｯｸ舗装復旧　施工歩掛（100m2 当り）影響部

名称	規格	単位	数量	摘要	適用する基準
ﾌﾞﾛｯｸ舗装工	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ	m2	100.000	再利用設置時は材料費差引き	土木工事標準積算基準書（PD810405）
	特殊ﾌﾞﾛｯｸ				施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB422530）
ﾌﾞﾛｯｸ舗装工	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ	m2	100.000	撤去	土木工事標準積算基準書（PD810405）
	特殊ﾌﾞﾛｯｸ				施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ（CB422530）

5　区画線設置工（土木工事標準単価）

本項は「土木工事標準積算基準書の運用」、「土木コスト情報」（建設物価調査）及び「土木施工単価」（経済調査会）に基づくものとする。

6　視覚障害者誘導標示

本項は「広島市水道局独自基準」とする。

(1) 視覚障害者誘導標示（貼付式）　･･･P1080005

以下の点について注意すること。

本施工単価は、原則、仮復旧時における点状及び線状の視覚障害者誘導標示の復旧に適用する。

(2) 視覚障害者誘導標示（溶融式）　･･･P1080010

以下の点に注意すること。

(ｱ)　本施工単価は、本復旧時における線状の視覚障害者誘導標示の復旧に適用する。

(ｲ)　溶融式の施工延長（「180m 未満」、「180m 以上」）は舗装種別（「再生密粒度ｱｽｺﾝ」、「再生細粒度ｱｽｺﾝ」、「開粒度ｱｽｺﾝ」）ごとに判断すること。

(3) 視覚障害者誘導標示（シート式）　･･･P1080015

以下の点に注意すること。

(ｱ)　本施工単価は、本復旧時における点状及び線状の視覚障害者誘導標示の復旧に適用する。

(ｲ)　シート式の施工延長（「20m 未満」、「20m 以上 50m 未満」、「50m 以上」）は舗装種別（「再生密粒度ｱｽｺﾝ」、「再生細粒度ｱｽｺﾝ」、「開粒度ｱｽｺﾝ」）ごとに判断すること。

7　スコッチレーン

本項は「広島市水道局独自基準」とする。

(1) 駐輪規制（貼付式）　･･･P1081005

駐輪規制（貼付式）の施工歩掛は次表を標準とする。

駐輪規制（貼付式）　施工歩掛（20 箇所当り）

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
土木一般世話役		人	1.000	
普通作業員		人	2.000	
駐輪規制	600×400(No Parking)	枚	20.000	
ﾌﾟﾗｲﾏｰ		缶	1.000	
諸雑費	労務費	%	5.000	率あり

(2) 喫煙制限・美化推進区域（貼付式）　･･･P1081010

喫煙制限・美化推進区域（貼付式）の施工歩掛は次表を標準とする。

喫煙制限・美化推進区域（貼付式）　施工歩掛（17 箇所当り）

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
土木一般世話役		人	1.000	
普通作業員		人	2.000	
喫煙制限・美化推進区域	600×700	枚	17.000	
ﾌﾟﾗｲﾏｰ		缶	2.000	
諸雑費	労務費	%	5.000	率あり

第８章　建設副産物処理

１　ダンプトラックの運搬作業

本項は「土木工事標準積算基準書」及び「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 適用範囲

本歩掛は、配管工事において、土砂等をバックホウで掘削しダンプトラックに直接積込み建設副産物仮置場まで運搬して集積し、その後、大型のダンプトラックで再資源化施設等まで運搬する場合に適用する。

ただし、工事現場から 2km 以内に再資源化施設等がある場合は、夜間工事等で工事現場から再資源化施設等に直接搬出することが妥当でない場合を除き、原則として工事現場から再資源化施設等に直接搬出することとする。

(2) 運搬距離

工事現場から建設副産物仮置場までの運搬距離は ２ｋｍを標準とし、建設副産物仮置場から再資源化施設等までの運搬距離は、工事現場から再資源化施設等までの実距離とする。

(3) 機械運転単価表

本項が根拠とする基準書のうち「水道事業実務必携」に基づく機械運転単価は次表を標準とする。

機械運転単価表（配管工事用）

機械名	規格	適用単価表	指定事項
ダンプトラック	４ｔ積	機－22	運転労務数量　1.000 燃料消費量　32.000 機械損料数量　1.290
	２ｔ積		運転労務数量　1.000 燃料消費量　21.000 機械損料数量　1.290

(4) 工事現場から建設副産物仮置場までの運搬に係る施工歩掛

工事現場から建設副産物仮置場までの運搬に係る施工歩掛は、運搬する建設副産物と積込機械の規格に応じて、運搬機種及び適用する基準を決定することとし、その組み合わせは次表を標準とする。

工事現場から建設副産物仮置場までの運搬機種及び適用する基準

建設発生土（砂、砂質土、レキ質土、粘性土、岩塊・玉石）

積込機械・規格	運搬機種・規格	適用する基準
バックホウ 0.45m3	ダンプトラック ４ｔ車	水道事業実務必携
バックホウ 0.28m3	ダンプトラック ４ｔ車	水道事業実務必携
バックホウ 0.13m3	ダンプトラック ２ｔ車	水道事業実務必携
バックホウ 0.08m3	ダンプトラック ２ｔ車	水道事業実務必携
人力	ダンプトラック ２ｔ車	施工パッケージ

建設発生土（軟岩Ⅰ、軟岩Ⅱ、中硬岩、硬岩Ⅰ）

積込機械・規格	運搬機種・規格	適用する基準
バックホウ 0.45m3	ダンプトラック４ｔ車	水道事業実務必携
バックホウ 0.28m3	ダンプトラック４ｔ車	水道事業実務必携
バックホウ 0.13m3	ダンプトラック２ｔ車	水道事業実務必携

アスファルト殻

積込機械・規格	運搬機種・規格	適用する基準
バックホウ 0.45m3	ダンプトラック４ｔ車	水道事業実務必携
バックホウ 0.28m3	ダンプトラック４ｔ車	水道事業実務必携
バックホウ 0.13m3	ダンプトラック２ｔ車	水道事業実務必携
人力	ダンプトラック２ｔ車	土木工事標準積算基準書（令和２年８月）※

コンクリート殻（無筋、鉄筋、ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ）

積込機械・規格	運搬機種・規格	適用する基準
バックホウ 0.45m3	ダンプトラック４ｔ車	水道事業実務必携
バックホウ 0.28m3	ダンプトラック４ｔ車	水道事業実務必携
バックホウ 0.13m3	ダンプトラック２ｔ車	水道事業実務必携
人力	ダンプトラック２ｔ車	土木工事標準積算基準書（令和２年８月）※

※土木工事標準積算基準書（令和２年８月）第Ⅱ編第２章 25）殻運搬の積込
工法区分「人力積込」を準用する。

1) ダンプトラック運転費 ･･･P1005200

ダンプトラック運転費の運搬施工歩掛は次表を標準とする。
ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛は、地山 10m3 を運搬する日数であり、配管工事の場合に適用する。
(ｲ) 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。
(ｳ) 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。
(ｴ) ＤＩＤ（人口集中地区）は、総務省統計局国勢調査報告書資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
(ｵ) 以下の処理対象については、表の補正係数により運搬日数に補正を行う。

処理対象	アスファルト殻 コンクリート殻 （無筋・ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ）	コンクリート殻 （鉄筋） 中硬岩・硬岩Ⅰ	軟岩Ⅰ・軟岩Ⅱ
補正係数(K)	＋0.30	＋0.37	＋0.22

補正後の運搬日数（日）＝　運搬日数（日）×（1＋K）

水道事業実務必携の運搬施工歩掛（10m3 当り）

名　称	規　格	単位	数量	摘要
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転費		日		表８

表８　10m3 当り運搬日数

積込機械・規格	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ｸﾛｰﾗ 排出ｶﾞｽ対策型(第２次基準値)			ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.08m3 ｸﾛｰﾗ 排出ｶﾞｽ対策型(第２次基準値)			
運搬機種・規格	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ４ｔ車			ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ２ｔ車			
	DID 区間：なし			DID 区間：なし			
運搬距離(km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下
運転日数(日)	0.200	0.250	0.300	0.500	0.600	0.650	0.750
	DID 区間：あり			DID 区間：あり			
運搬距離(km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下
運転日数(日)	0.200	0.250	0.300	0.500	0.600	0.700	0.800

積込機械・規格	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ｸﾛｰﾗ 排出ｶﾞｽ対策型(第２次基準値)			ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 ｸﾛｰﾗ 排出ｶﾞｽ対策型(第２次基準値)			
運搬機種・規格	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ４ｔ車			ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ２ｔ車			
	DID 区間：なし			DID 区間：なし			
運搬距離(km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下
運転日数(日)	0.250	0.300	0.350	0.500	0.600	0.650	0.750
	DID 区間：あり			DID 区間：あり			
運搬距離(km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下
運転日数(日)	0.250	0.300	0.400	0.500	0.600	0.650	0.750

2)　土砂等運搬　･･･CB210110（施工パッケージ）

土砂等運搬の運搬施工歩掛については、その適用範囲、施工フロー、積算条件、代表機労材規格等の一切について「土木工事標準積算基準書」のとおりとする。

(5) 工事現場から建設副産物仮置場、建設副物仮置場から再資源化施設等までの運搬及び処分に係る施工歩掛

1)　建設発生土流用費　･･･P1010118、建設発生土（岩類）流用費　･･･P1010119

建設発生土流用費の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 建設発生土流用費が 100m3 以上となる場合は、設計書表示単位が積込（ルーズ）及び土砂等運搬は 10m3 単位、発生土処分費は 1m3 単位となり、設計書表示単位に相違があるため適用できない。

(ｲ) ダンプトラック運転費について、運搬する建設発生土が中硬岩または硬岩Ⅰの場合は、土木工事標準積算基準書に基づき機械損料補正を行うものとする。

建設発生土流用費　施工歩掛（10m3 当り）

名　称	規　格	単位	数量	適用する基準	運搬区分
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転費	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.08m3	日		水道事業実務必携(P1005200)	現場～仮置場
土砂等運搬	人力	m3	10.000	施工パッケージ	
積込（ルーズ）（基準額）	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場積込
土砂等運搬（基準額）	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 10ｔ車	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場～処分場
発生土処分費		m3	10.000		（処分費）

建設発生土（岩類）流用費（軟岩Ⅰ、軟岩Ⅱ、中硬岩、硬岩Ⅰの場合）　施工歩掛（10m3 当り）

名　称	規　格	単位	数量	適用する基準	運搬区分
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転費	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	日		水道事業実務必携(P1005200)	現場～仮置場
積込（ルーズ）（基準額）	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場積込
土砂等運搬（基準額）	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 10ｔ車	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場～処分場
発生土処分費		m3	10.000		（処分費）

建設発生土（岩類）流用費（岩塊・玉石の場合）　施工歩掛（10m3 当り）

名　称	規　格	単位	数量	適用する基準	運搬区分
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転費	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	日		水道事業実務必携（P1005200）	現場～仮置場
土砂等運搬	人力	m3	10.000	施工パッケージ	
積込（ルーズ）（基準額）	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場積込
土砂等運搬（基準額）	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 10ｔ車	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場～処分場
発生土処分費		m3	10.000		（処分費）

2)　建設廃棄物運搬処分費　･･･P1010127

建設廃棄物運搬処分費の施工歩掛は次表を標準とする。

アスファルト殻　施工歩掛（10m3 当り）

名称	規格	単位	数量	適用する基準	運搬区分
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転費	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	日		水道事業実務必携（P1005200）	現場～仮置場
殻運搬	人力	m3	10.000	土木工事標準積算基準書（令和２年８月）※	
積込（ルーズ）（基準額）	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場積込
殻運搬（基準額）	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 10ｔ車	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場～処分場
ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処分費		m3	10.000		（処分費）

コンクリート殻（無筋、鉄筋、ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ）　施工歩掛（10m3 当り）

名称	規格	単位	数量	適用する基準	運搬区分
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転費	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	日		水道事業実務必携（P1005200）	現場～仮置場
殻運搬	人力	m3	10.000	土木工事標準積算基準書（令和２年８月）※	
積込（ルーズ）（基準額）	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場積込
殻運搬（基準額）	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 10ｔ車	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場～処分場
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻処分費	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（無筋・鉄筋）	m3	10.000		（処分費）
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ処分費	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ				

※土木工事標準積算基準書（令和２年８月）第Ⅱ編第２章 25）殻運搬の積込工法区分「人力積込」を準用する。

3)　建設発生路盤材運搬処分費　･･･P1010121

建設発生路盤材運搬処分費の施工歩掛は次表を標準とする。

ただし、以下の点に注意すること。

(ｱ) 本歩掛は、土砂が混在していない建設発生路盤材を処分場に搬出する場合に適用する。なお、土砂が混在している場合は、原則建設発生土として取り扱う。

(ｲ) 建設発生路盤材運搬処分費が 100m3 以上となる場合は、設計書表示単位が積込（ルーズ）及び土砂等運搬は 10m3 単位、建設発生路盤材処分費は 1m3 単位となり、設計書表示単位に相違があるため適用できない。

建設発生路盤材運搬処分費　施工歩掛（10m3 当り）

名　称	規　格	単位	数量	適用する基準	運搬区分
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転費	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.08m3	日		水道事業実務必携（P1005200）	現場～仮置場
土砂等運搬	人力	m3	10.000	施工パッケージ	
積込（ルーズ）（基準額）	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場積込
土砂等運搬（基準額）	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 10ｔ車	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場～処分場
建設発生路盤材処分費		m3	10.000		（処分費）

(6) 埋戻し土運搬　･･･P1010123

埋戻し土運搬の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、運搬は工事現場から建設副産物仮置場間の往復とする。

埋戻し土運搬（ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3、ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 で掘削した場合）施工歩掛（10m3 当り）

名　称	規　格	単位	数量	適用する基準	運搬区分
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転費		日		水道事業実務必携（P1005200）	現場～仮置場
積込（ルーズ）	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場積込
土砂運搬工（4ｔ）※		m3	10.000	水道事業実務必携（P1010173）	仮置場～現場

※土砂運搬工（4ｔ）の施工歩掛は、ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転費（P1005200）のﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3 積込時の歩掛に準じる。

埋戻し土運搬（ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 で掘削した場合）施工歩掛（10m3 当り）

名　称	規　格	単位	数量	適用する基準	運搬区分
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転費		日		水道事業実務必携（P1005200）	現場～仮置場
積込（ルーズ）	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場積込
土砂等運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2ｔ車	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場～現場

埋戻し土運搬（人力で掘削した場合）施工歩掛（10m3 当り）

名　称	規　格	単位	数量	適用する基準	運搬区分
土砂等運搬		m3	10.000	施工パッケージ	現場～仮置場
積込（ルーズ）	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場積込
土砂等運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2ｔ車	m3	10.000	施工パッケージ	仮置場～現場

2　仮置場での積込費（施工パッケージ）

本項は「土木工事標準積算基準書」に基づくものとする。

(1) 適用範囲

適用範囲、施工フロー、積算条件、代表機労材規格等については「土木工事標準積算基準書」のとおりとする。

(2) 条件区分

条件区分は次表を標準とする。

ただし、以下について注意すること。

(ｱ) 仮置場での積込みに必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

(ｲ) 土量は地山量とする。

(ｳ) アスファルト殻、コンクリート殻の積込みは、破砕岩とする。

積込（ルーズ）積算条件区分（積算単位：m3）

土質	作業内容
土砂	平均施工幅 1m以上 2m未満
岩塊・玉石	平均施工幅 1m以上 2m未満
破砕岩 （アスファルト殻・コンクリート殻）	平均施工幅 1m以上 2m未満

３　廃プラスチックの運搬処分

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

(1) 適用範囲

本歩掛は、配管工事において、廃プラスチックを工事現場から再資源化施設等まで運搬する場合に適用する。

(2) 運搬距離

運搬距離は、工事現場から再資源化施設等までの実距離とする。

(3) 工事現場から再資源化施設等までの運搬及び処分に係る施工歩掛

廃プラスチック運搬処分費　･･･P1010144

廃プラスチック運搬処分費の施工歩掛は次表を標準とする。

工事現場で発生した廃プラスチックの運搬処分費は、各工事区分に、時間的制約ごとの廃プラスチックの運搬量を計上する。

廃プラスチック運搬処分費　施工歩掛（1式）

名　称	規格	単位	数量	摘要	運搬区分
現場発生品及び支給品運搬		t	1.000	(P1010153)	仮置場～処分場
廃プラスチック処分費		m3			(処分費)

(4) 現場発生品及び支給品運搬

現場発生品及び支給品運搬　･･･P1010153

現場発生品及び支給品運搬の施工歩掛は次表を標準とする。

なお、積算方法は、「土木工事標準積算基準書」による。

現場発生品及び支給品運搬　施工歩掛（1ｔ当り）

名　称	規　格	単位	数量	摘要
現場発生品及び支給品運搬		t	1.000	施工パッケージ
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	ｸﾚｰﾝ装置付 2t 積級､吊能力 2.9t ｸﾚｰﾝ装置付 4～4.5t 積級､吊能力 2.9t	t	1.000	施工パッケージ

第９章　運搬工

本項は「水道事業実務必携」に基づくものとする。

１　支給材料運搬

(1) 適用範囲

本歩掛は、配管工事における水道管等の支給材料について、千田資材置場又は高陽資材置場から材料置場まで運搬し、その後、水道管等の支給材料を材料置場から工事現場まで運搬する場合に適用する。

(2) 運搬距離

千田資材置場又は高陽資材置場から材料置場までの運搬距離は、千田資材置場又は高陽資材置場から工事現場までの実距離とし、材料置場から工事現場までの運搬距離は ２ｋｍを標準とする。

(3) 千田資材置場又は高陽資材置場から材料置場までの運搬に係る施工歩掛

1)　支給材運搬費　･･･P1910011

支給材運搬費の施工歩掛は次表を標準とする。

支給材運搬費　施工歩掛（1 式）

名　称	規　格	単位	数量	摘要
支給材運搬費	2t	台		距離制運賃表
	4t	台		
	10t	台		
積込・取り卸費 支給材等		t		表 9

※ 距離制運賃表は、貨物自動車運送事業法に基づき告示された「一般貨物自動車運送事業に係る標準的な運賃」による。

なお、距離制運賃表による支給材運搬費の端数処理は行わない。

表 9　支給材等の積込み、取卸しに要する費用

場　所	作　業	費用（円/t）	
基　地	積込み	750	1,500
現　場	取卸し	750	

(4) 材料置場から工事現場までの運搬に係る施工歩掛

支給材運搬費　･･･P1910012

支給材運搬費の施工歩掛は次表を標準とする。

支給材運搬費　施工歩掛（1 式）

名　称	規　格	単位	数量	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ｸﾚｰﾝ装置付 2t 積級、吊能力 2.9t ｸﾚｰﾝ装置付 4～4.5t 積級、吊能力 2.9t	t		(P1010153)

※　現場発生品及び支給品運搬は「第８章　３　(5)　現場発生品及び支給品運搬」による。

２　撤去材料運搬

(1) 適用範囲

本歩掛は、配管撤去工事における撤去管等を、工事現場から材料置場まで運搬し、その後、撤去管等を材料置場から千田資材置場又は緑井浄水場まで運搬する場合に適用する。

(2) 運搬距離

工事現場から材料置場までの運搬距離は２ｋｍを標準とし、材料置場から千田資材置場又は緑井浄水場までの運搬距離は、工事現場から千田資材置場又は緑井浄水場までの実距離とする。

(3) 工事現場から材料置場までの運搬に係る施工歩掛

撤去材運搬費　･･･P1910111

撤去材運搬費の施工歩掛は次表を標準とする。

撤去材運搬費　施工歩掛（1 式）

名　称	規　格	単位	数量	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ｸﾚｰﾝ装置付 4～4.5t 積級、吊能力 2.9t	t		(P1010153)

※　現場発生品及び支給品運搬は「第８章　３　(5) 現場発生品及び支給品運搬」による。

(4) 材料置場から千田資材置場又は緑井浄水場までの運搬に係る施工歩掛

撤去材運搬費　･･･P1910112

撤去材運搬費の施工歩掛は次表を標準とする。

撤去材運搬費　施工歩掛（1 式）

名　称	規　格	単位	数量	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ｸﾚｰﾝ装置付 4～4.5t 積級、吊能力 2.9t	t		(P1010153)

※　現場発生品及び支給品運搬は「第８章　３　(5) 現場発生品及び支給品運搬」による。

第１０章　役務費

本項は「広島市水道局独自基準」とする。

１　材料置場

(1) 適用範囲

材料置場は、支給材料置場及び建設機械置場として、土地を借用する場合に適用する。

(2) 材料置場　･･･P1950005

材料置場の借地に要する地区ごとの費用は資材単価一覧表による。

２　建設副産物仮置場

(1) 適用範囲

建設副産物仮置場は、建設発生土置場、アスファルト殻置場、機械（バックホウ、ダンプトラック等）置場等として、土地を借用する場合に適用する。

(2) 建設副産物仮置場　･･･P1950006

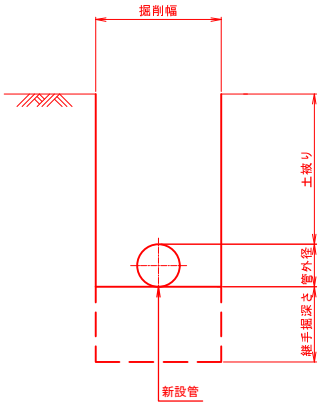
建設副産物仮置場の借地に要する地区ごとの費用は資材単価一覧表による。

第１１章　参考図

１　標準掘削平面図・断面図（S=FREE）

(1) 本管布設部

断面図



【広島市管理道(国道・県道・市道)】　単位:mm

口 径	管 種	管外径	掘削幅	継手掘深さ	継手掘長さ	備 考
50mm	HPPE	60	600(900)	－	－	
75mm	GX形	90	600(900)	300	500	
100mm	GX形	120	600(900)	300	500	
150mm	GX形	170	600(900)	300	500	
200mm	GX形	220	600(900)	300	500	
300mm	GX形	320	700(900)	300	500	
400mm	GX形	430	1000(1100)	600	800	

※(　)内数値は、矢板掘削とする。

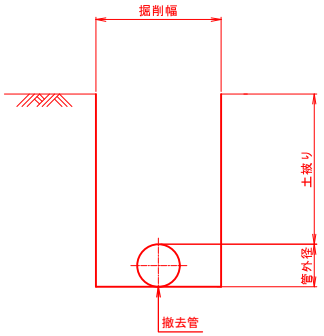
【上記以外】　単位:mm

口 径	管 種	管外径	掘削幅	継手掘深さ	継手掘長さ	備 考
50mm	HPPE	60	600(850)	－	－	
75mm	GX形	90	600(850)	300	500	
100mm	GX形	120	600(850)	300	500	
150mm	GX形	170	600(850)	300	500	
200mm	GX形	220	600(850)	300	500	
300mm	GX形	320	700(850)	300	500	
400mm	GX形	430	950(1050)	600	800	

※(　)内数値は、矢板掘削とする。

(2) 本管撤去部

断面図



【広島市管理道(国道・県道・市道)】　単位:mm

口 径	管外径	掘削幅	備 考
75mm	90	600(900)	
100mm	120	600(900)	
150mm	170	600(900)	
200mm	220	600(900)	
250mm	270	600(900)	
300mm	320	600(900)	
350mm	370	600(900)	
400mm	430	700(900)	

※(　)内数値は、矢板掘削とする。

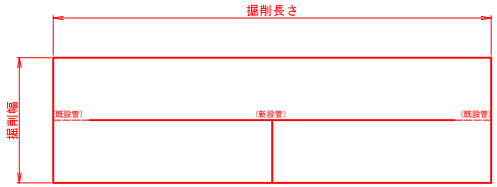
【上記以外】　単位:mm

口 径	管外径	掘削幅	備 考
75mm	90	600(850)	
100mm	120	600(850)	
150mm	170	600(850)	
200mm	220	600(850)	
250mm	270	600(850)	
300mm	320	600(850)	
350mm	370	600(850)	
400mm	430	650(900)	

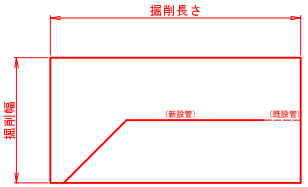
※(　)内数値は、矢板掘削とする。

(3) 新旧管連絡か所

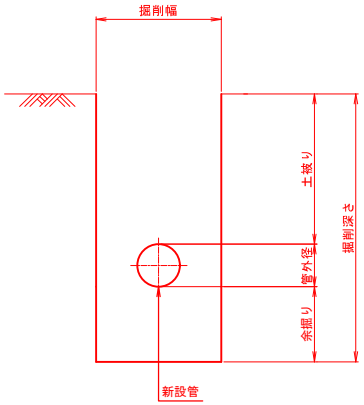
平面図（Ａタイプ）



平面図（Ｂタイプ）



断面図



【Ａタイプ】　単位:mm

口 径	管外径	掘削幅	掘削長さ	余掘り	備 考
75mm	90	900	3,500	300	
100mm	120	900	3,500	300	
150mm	170	900	3,500	300	
200mm	220	900	3,500	300	

【Ｂタイプ】　単位:mm

口 径	管外径	掘削幅	掘削長さ	余掘り	備 考
75mm	90	900	2,000	300	
100mm	120	900	2,000	300	
150mm	170	900	2,000	300	
200mm	220	900	2,000	300	
300mm	320	900	2,000	300	
400mm	430	1100	2,000	600	